

キッチン リフォーム How-to Book

施工事例
リフォーム部材使用事例集

2026年版

これは使える！ キッチンリフォーム必携本！！

成功への第一歩！

現場調査のポイントをわかりやすく解説しています。

最初でつまづかない！

キッチンリフォームには成功のコツがあります。

具体例でわかりやすい！

リフォーム対応部材の納まりなどを数多くご紹介しています。

こんな場合でもできる！

リフォームの満足UPにつながる提案例がここに
あります。





現場調査チェックポイント

P.2

解決

1 リフォームのポイント 壁付I型キッチン

壁付I型

壁付I型

間口寸法そのままリフォーム

P.8

壁付I型

壁付I型

設置場所はそのまま、間口変更リフォーム

P.10

壁付I型

壁付I型

ピッタリ納まる、間口調整リフォーム

P.12

解決

2 リフォームのポイント セミオープンキッチン

セミオープン

オープン

間口そのまま、対面キッチンリフォーム

P.16

セミオープン

セミオープン

解放的なセンターキッチンにリフォーム

P.18

L 型

オープン

L型キッチンを、オープンキッチンにリフォーム

P.20

リフォーム対応部材紹介

LIXILのシステムキッチン紹介・キッチン別リフォーム対応部材 対応一覧

P.25

躯体納まり用部材

P.26

- 間口対応ワークトップ
- 可変システム収納カウンター
- セラミックトップ分割対応
- セラミックトップ ペニンシュラI型 構造壁対応
- ペニンシュラI型構造壁対応
- 10mmピッチ間口対応キャビネット
- 可変壁側設置フィラー
- 可変パネルフィラー
- ボックスフィラー
- 可変壁側設置フィラー/
可変パネルフィラー 不燃仕様
- ヒモ材
- コン口用キャビネット フィラー付
- シンク用キャビネット フィラー仕様
- キッチン総高さ
- 天井フィラー
- 梁欠きふさぎ材
- 梁欠きウォールキャビネット
- 梁欠き対応フィラー
- ウォールキャビネット 高さ30cm
- 可変エンドパネル
- 不燃サイドパネル

排気・開口部用部材

P.36

- レンジフードの低天井空間設置
- LERシリーズ
- 回転式フレキシブルダクト/
レンジフード取り替え交換用キット
- レンジフードの梁対応
- 金属幕板端部保護カバー
- スライド金属幕板
- 芯ずれ補正ダクト
- BFRFシリーズ+角ダクト

給排水管用部材

P.40

- 配管スペース
- 排水口接続位置
- 既設配管対応キット
- トレーボード
- シンク位置移動
- ディスボーズ対応キット
- 食器洗い乾燥機排水分岐管

加熱機器用部材

P.44

- 加熱機器位置移動
- 低電気容量対応 IHヒーター

壁仕上げ用部材

P.45

- キッチンパネル
- マグネット対応キッチンパネル

狭小空間対応用部材

P.46

- キッチン 奥行60cm
- システム収納 奥行32cm系



現場調査 チェックポイント

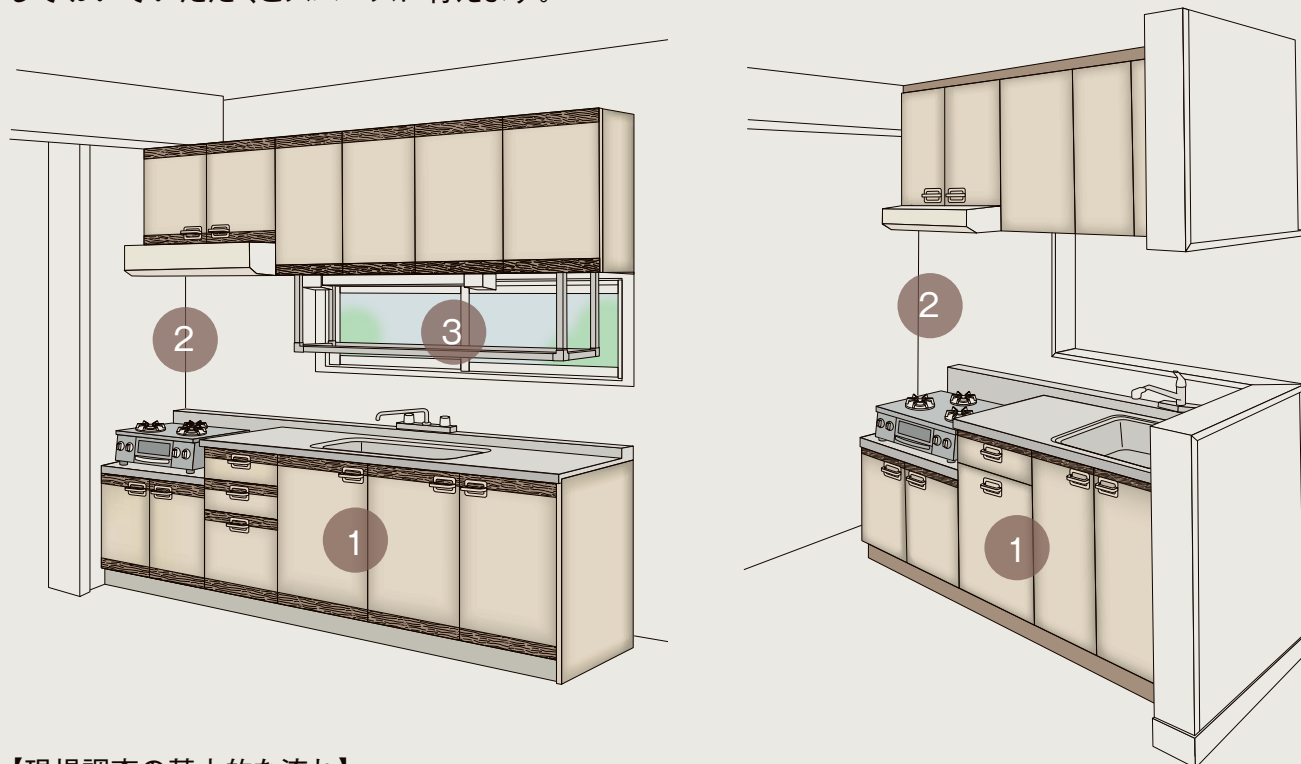
解決 1 リフォームのポイント

壁付I型キッチン

キッチンリフォームでは、プランを決める前、工事を行う前にお施主さまの住宅とキッチンをしっかり調査・確認することが成功への重要な第一歩です。

キッチン各部の採寸はもちろん、各種配管の取出し位置や材質、排気口の位置や開口形状をチェックすることで、トラブルの無い効率的なリフォームを行いましょう。

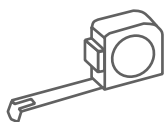
また現場調査では、キャビネット内を確認することがあります。あらかじめお施主さまにキャビネット内を空にしておいていただくとスムーズに行えます。



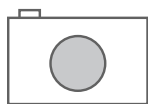
【現場調査の基本的な流れ】

- ① キッチンを採寸する ▶ ② 躯体構造（柱、梁、壁、床）を調べる ▶ ③ 既設窓を調べる ▶
- ④ レンジフード・換気扇を調べる ▶ ⑤ 排水管を調べる ▶ ⑥ 給水・給湯管を調べる ▶
- ⑦ ガス管・電源を調べる ▶ ⑧ 搬入経路とキッチン仮置きスペースを確認する

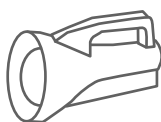
現場調査に必要な道具



メジャー（5m以上）



デジタルカメラ



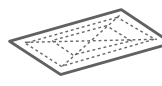
照明器具



保護具



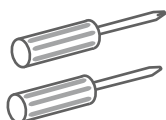
スリッパ



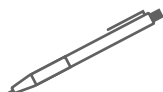
雑巾



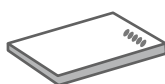
手鏡



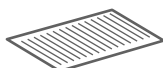
ドライバー



筆記用具



カタログ・図面



チェックシート



クリップボード



下地検知器（イメージ）



確認箇所を
写真撮影して
おきましょう

現場調査の流れ

1 ニーズの確認

どのようなニーズがあるのか確認するために以下のようなヒアリングを行います。

！ ヒアリング例

- キッチンはどうなプランをお考えですか？
(I形・L形・センターキッチン…)
- 使い勝手はいかがですか？
- キッチンの広さはいかがですか？
- 収納スペースは足りていますか？
- 電子レンジなど家電の置き場は？
- お困りごとや、ご要望はございますか？

2 既設キッチン・設備などの確認

キッチン各部の寸法やお部屋の構造・仕様を確認します。



3 プラン提案・ショールームへの誘引

ヒアリングした内容をもとにお客さまに提案を行います。また、使い勝手やデザイン・仕様の確認としてショールームへの来場をご案内します。

ロールプレイング動画で流れをすべてご覧いただけます。



ロールプレイングの
動画はこちら

1 キッチンを採寸する

- キッチン本体の間口・奥行き・高さの採寸を行います。

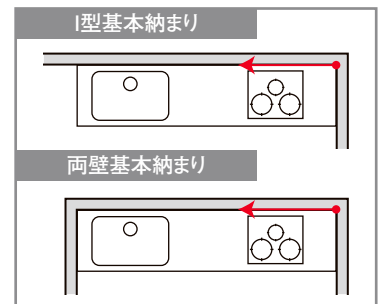
！ キッチンの採寸は、採寸ミスを防ぐため基準となる壁の1方向(片側)から測ります。基本的に加熱機器側を基準壁とします。

- キッチン本体だけでなく台所全体の寸法と配置を確認する。

！ 食器棚や冷蔵庫の配置と寸法も確認する。

- キッチンの脇の壁に、引出し開閉時に干渉する突起物(コンセント・換気口・額縁・幅木など)がないかを確認する。

- 吊り戸前の天井に、扉開閉時に干渉する突起物(シーリングライト、ガス・煙検知器など)がないかを確認する。



2 躯体構造(柱、梁、壁、床)を調べる

- 柱、梁、PSなどがある場合は位置と寸法を採寸する。

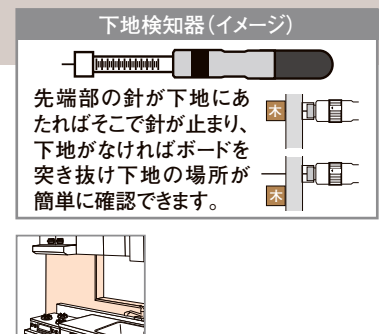
- 壁・天井の下地構造を確認する。— 吊り戸、レンジフードの設置ができるかを確認。

！ 石膏ボード貼りで下地が目視できない場合は、市販の下地検知器などで確認する。

○ 天吊型レンジフードの場合、天井の下地に吊ボルトで固定する必要があります。

- 対面キッチンの場合、加熱機器前の壁が構造壁か確認する。

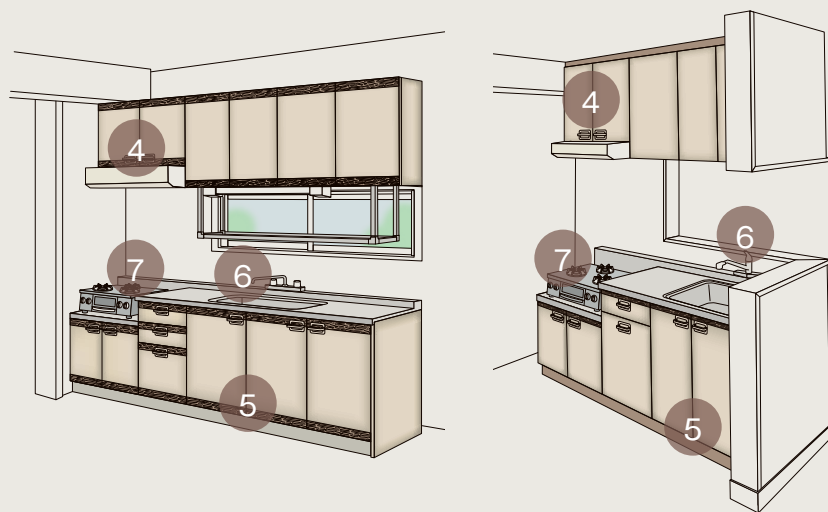
！ 構造壁は取り除くことができないので、注意が必要です。



3 既設窓を調べる

- 既設窓がある場合は、位置、サイズ、出窓の幅などを採寸する。

！ 窓のサイズは窓額縁の外側で採寸する。



【現場調査の基本的な流れ】

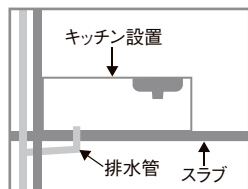
- ① キッチンを探寸する
- ② 躯体構造(柱、梁、壁、床)を調べる
- ③ 既設窓を調べる
- ④ レンジフード・換気扇を調べる
- ⑤ 排水管を調べる
- ⑥ 給水・給湯管を調べる
- ⑦ ガス管・電源を調べる
- ⑧ 搬入経路とキッチン仮置きスペースを確認する

4 レンジフード・換気扇を調べる

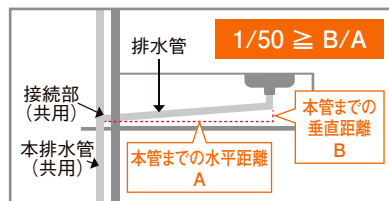
- **送風機の種類を確認する** —— プロペラファン、シロッコファン、ターボファンといった送風機の種類のほか、連動線の有無もチェックする。
- **排気ダクトのつなぎ方・形状を確認する。** —— ダクトが目視できない場合は機器の品番で確認する。
 ！ ダクト形状・位置は、レンジフードの図面(メーカーより取り寄せ)で確認できます。
- **プロペラファン** — ファンの取り付けが後壁か側壁かを確認し、ファン中心の水平垂直位置を計測する。
 ！ プロペラファンからシロッコファンに交換する場合、薄型のレンジフードを用いてください。
- **シロッコファン** — 幕板を外し、ダクト径・ダクトの抜き方向(後壁、側壁、天井)・ダクト抜き位置(壁の場合・水平垂直、天井の場合・壁からの位置)
 ！ レンジフードの機種によっては、ダクト取り回しスペースがなく、既存の躯体位置に取り付けできない場合がございます。
- **ターボファン** — 壁への排気形状位置が計測できない場合は、排気方向とレンジフード位置を確認し、メーカー品番を控えてください。
- **レンジフードのメーカー・品番は、できるかぎり記録しておく。**
 ！ 後日、メーカーへ問い合わせれば、図面などでダクトの形状が確認できます。

5 排水管を調べる

- **配管の位置を調べる。** —— 共用排水管へどのようにつながっているか確認する。



！ マンションの場合、排水管がスラブ※を貫通している場合や、戸建床下配管で基礎を跨ぐ場合は、排水管の移動はできません。



！ 床下に余裕がない場合や、接続位置が床上で高い場合は、1/50(配管径φ65mmの場合)の水勾配が確保できず、排水管の移動に制約が生じます。

○スラブは、鉄筋コンクリート造における上階住戸と下階住戸の間にある構造床。

- **配管の種類を確認する。** —— 樹脂管、銅管、鉄管など、管の種類を確認する。
 ！ 管によって工具などが異なるので、間違えると工事中断のおそれがございます。
- **管の継手がどこにあるか調べる。**
 ！ 継手から切り替えられないと、管の切断工事が必要になります。



確認箇所を
写真撮影して
おきましょう

6 給水・給湯管を調べる

- 配管の位置を調べる。—— 既設の給水管、給湯管がそのまま使えるかどうか確認する。

❗ 基本的にフロアキャビネットから確認します。
確認できない場合は、キャビネット内に点検用の化粧板があるか確認し、点検用化粧板を外して確認します。

- 管の継手がどこにあるか調べる。

❗ 継手から切り替えられないと、管の切断工事が必要になります。

7 ガス管・電源を調べる

- ガス管の位置と配管の状況を確認する。● 電源の位置と契約アンペアを確認する。● ガス種(都市ガス・プロパン)を確認する。

❗ IHヒーターに変更する場合、200V用電源の引き込みが可能か確認します。

8 搬入経路とキッチン仮置きスペースを確認するー1

製品の搬入経路が確保できているか、あらかじめ確認を行ってから発注してください。

目安として、サイズ・重量が大きい代表的な製品の情報と搬入経路の注意事項を以下に示します。

搬入経路によっては、搬入費用が別途必要となる場合がございます。

(特にセラミックワークトップは、仕様により重量が大きいものがありますので、搬入費用についてご確認ください。)

○ドア、廊下、階段、エレベーターで荷の取り回しができない場合や重量の大きな物を搬入する場合は、建築業者様での重機(クレーン等)、揚重作業員等の手配が必要となる場合がございます。

- 現場に部材の開梱・キッチンパネルなどの加工ができるスペースがあることを確認します。

❗ 部材で一番長いのは → ワークトップなど 部材で一番面積が大きいのは → キッチンパネルなど

- キッチンの部材が搬入できるか搬入路を確認し、道路・廊下・階段・ドアなどの高さ・幅を採寸する。

❗ 採寸ポイントは、曲がり角・廊下・階段・扉・間口位置になります。

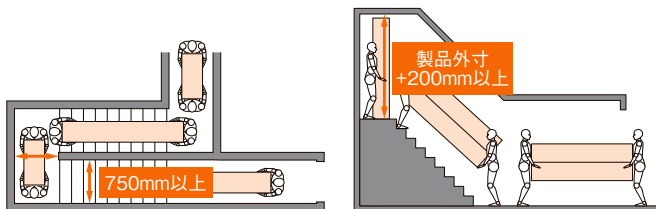
■階段のサイズについて(階段からの搬入が必要な場合)

ワークトップを搬入する場合、階段幅と踊り場(天井、幅)のサイズをご確認ください。踊り場は製品を縦にして移動するため、天井の高さが製品の間口より長い必要があります。階段搬入の場合、別途費用がかかる場合がございますので、あらかじめ確認を行ってから発注してください。

○重量の大きな物を搬入する場合は、建築業者様での重機(クレーン等)、揚重作業員等の手配が必要となる場合がございます。

○下図は、イメージであり製品仕様・現場環境により異なります。

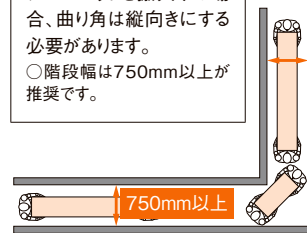
ワークトップや2ウェイクローゼット、フラットスライドクローゼットを搬入する場合、踊り場は縦向きにする必要があります。○階段幅は750mm以上が推奨です。



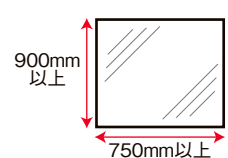
■まがり廊下

ワークトップを搬入する場合、廊下幅と天井のサイズをご確認ください。製品を縦にして移動するため、天井の高さが製品の長辺より長い必要があります。

ワークトップや2ウェイクローゼット、フラットスライドクローゼットを搬入する場合、曲り角は縦向きにする必要があります。
○階段幅は750mm以上が推奨です。



■開口部



8 搬入経路とキッチン仮置きスペースを確認する-2

- キッチンの部材が搬入できるか搬入路を確認し、道路・廊下・階段・ドアなどの高さ・幅を採寸する。

❗ 搬入路を採寸する場合は、飛び出している手すり、柱、ドアノブなどに注意し『一番狭い場所』を採寸します。

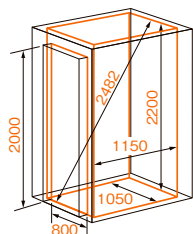
❗ 養生が必要となる場所を確認します。

❗ 廊下・玄関から搬入できない場合は、エレベーター利用時間・手搬入などの確認をします。

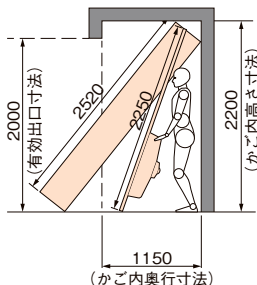
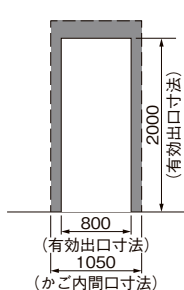
■エレベーターのサイズについて

ワークトップは、仕様、サイズにより、階段からの搬入や屋外からの吊り上げでの搬入となり、別途費用がかかる場合がございますので、あらかじめ確認を行ってから発注してください。

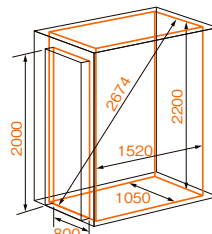
JIS(日本産業規格)住宅用エレベーター
6人乗り(R-6-2S)の場合



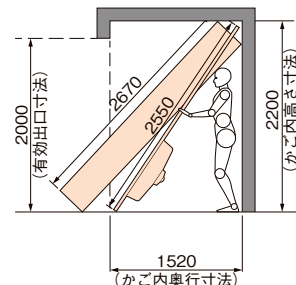
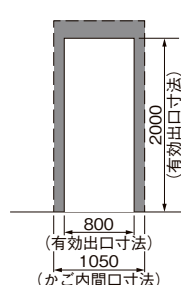
6人乗りの場合の目安
2250mmまで
○梱包を外した状態での目安です。
(必ず保護が必要です。エレベーター内にも
養生が必要です。)
○エレベーター寸法により目安値は変動します。



JIS(日本産業規格)住宅用エレベーター
9人乗り(R-9-2S)の場合



9人乗りの場合の目安
2550mmまで
○梱包を外した状態での目安です。
(必ず保護が必要です。エレベーター内にも
養生が必要です。)
○エレベーター寸法により目安値は変動します。

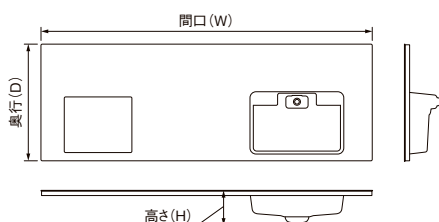


(単位：mm)

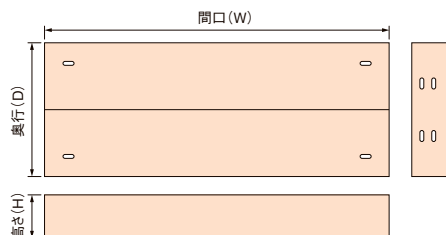
ワークトップ種類	ワークトップ奥行	エレベーター種類	搬入の目安
I型/アイランド	D650/D750mm	6人乗り	間口2250mmまでが目安となります。 ○梱包を外した場合の最大値のため、必ず端部には保護が必要となります。
I型/アイランド	D650/D750mm	9人乗り	間口2550mmまでが目安となります。 ○梱包を外した場合の最大値のため、必ず端部には保護が必要となります。
アイランド	D970mm	6人乗り	間口1950mmまでが目安となります。 ○入口から入らないため、入口高さ以下の製品サイズとなります。
アイランド	D970mm	9人乗り	間口1950mmまでが目安となります。 ○入口から入らないため、入口高さ以下の製品サイズとなります。

JIS(日本産業規格)住宅用エレベーター寸法での目安のため、エレベーター内の各寸法が異なれば、目安値は変動します。あらかじめ、各寸法をご確認ください。

製品サイズ



梱包サイズ





確認箇所を
写真撮影して
おきましょう

■主なワークトップ(壁付I型)のサイズ・重量

ワークトップ 種類	製品					梱包状態					備考		
	サイズ			重量(kg)		サイズ			重量(kg)				
	奥行 (mm)	間口 (mm)	高さ (mm)	Wサポート シンク	ハイブリッド クォーツ シンク	奥行 (mm)	間口 (mm)	高さ (mm)	Wサポート シンク	ハイブリッド クォーツ シンク			
壁付Ⅰ型 (アウトセット)	650	342		38	—	746	3715	375		63	重量は 人造大理石トップの 場合です。		
				37	—					61		—	
				36	—					59		—	
				35	—					57		—	
				33	43					48		57	
		292		31	41		3446(3115)		46	55		重量は セラミックトップ の場合です。	
				29	39		3446(2965)		43	53			
				28	38		3146(2815)		42	52			
				27	37		3146(2815)		41	50			
				25	35		2996(2665)		39	48			
			23	33		2546(2515)		37	47				
			21	31	771(746)	2246(2215)	375	34	43	梱包状態の()内の 寸法は人造大理石 トップ、< >内の 寸法はステンレス トップの場合です。			
			20	29		2246(2065)		32	41				
			18	27				1946(1915)	29		38		
			16	25				27	37				
			14	23				24	33				
			1350			12	21		1646(1615)		23		32
			1200			10	20				18		28
			1050			8	18		1346(1315)		17		27

○上表には代表的なワークトップとシンクの重量を記載しています。重量はワークトップやシンクの種類によって多少異なります。○リシェルの片側インセットの場合:製品間口サイズは+24mm、重量は+約2kgとなります。梱包サイズは同じです。
○リシェルの両側インセットの場合:製品間口サイズは+48mm、重量は+約3kgとなります。梱包サイズは同じです。○仕様変更等により、多少の数値の誤差が発生する場合がございます。

■主なワークトップ(アイランド型)のサイズ・重量

ワークトップ 種類	製品					梱包状態					備考
	サイズ			重量(kg)		サイズ			重量(kg)		
	奥行 (mm)	間口 (mm)	高さ (mm)	Wサポート シンク	ハイブリッド クォーツ シンク	奥行 (mm)	間口 (mm)	高さ (mm)	Wサポート シンク	ハイブリッド クォーツ シンク	
アイランド型	970	2748	292	52	62	1111	3088(2980)<2944>	375	76	85	重量は セラミックトップ の場合です。 梱包状態の()内の 寸法は人造大理石 トップ、< >内の 寸法はステンレス トップの場合です。
		2598		49	59		3088(2980)<2793>		72	82	
		2448		46	56		3088(2980)<2643>		69	78	
		2298		44	53		3088(2980)<2493>		65	75	
		2148		41	50		3088(2980)<2343>		63	72	
		1998		38	47		3088(2980)<2193>		61	70	
		1848		35	44		3088(2980)<2043>		54	64	
		1698		32	41		3088(2980)<1743>		52	61	
		1548		29	38		3088(2980)<1593>		50	59	
		1398		26	36		3088(2980)<1443>		43	52	
	750	2748	42	51	3088(2980)<2944>	62	71				
		2598	40	49	3088(2980)<2793>	59	69				
		2448	37	47	3088(2980)<2643>	57	66				
		2298	35	45	3088(2980)<2493>	54	64				
		2148	33	42	3088(2980)<2343>	52	61				
		1998	30	40	3088(2980)<2193>	50	60				
		1848	28	38	3088(2980)<2043>	45	55				
		1698	26	35	3088(2980)<1743>	43	53				
		1548	24	33	3088(2980)<1593>	42	51				
		1398	21	31	3088(2980)<1443>	36	46				

○上表にはリシェルの代表的なワークトップとシンクの重量を記載しています。重量はワークトップやシンクの種類によって多少異なります。ペニンシュラの場合、製品間口サイズは+24mm、重量は+約2kgとなります。梱包サイズは同じです。
○仕様変更等により、多少の数値の誤差が発生する場合がございます。

■主なキャビネットのサイズ・重量(比較的大きい製品)

キャビネット種類	製品			梱包状態				備考
	サイズ			サイズ			重量(kg)	
	奥行 (mm)	間口 (mm)	高さ (mm)	奥行 (mm)	間口 (mm)	高さ (mm)		
シンクキャビネット	640	1050	878	650	1070	900	53	リシェルの
2ウェイクローゼット／ フラットスライドクローゼット	615	900	1803	650	930	1935	114	アップバーキャビネット
	615	1800	440	675	1820	456	76	フロアキャビネット
	150	1800	2350	984	1820	2388	53	扉セット

○上記は比較的大きいサイズ、重量の製品となります。○仕様変更等により、多少の数値の誤差が発生する場合がございます。

6つの事例をご紹介します

壁付I型

壁付I型

間口そのままリフォーム

P.8

壁付I型

壁付I型

設置場所そのまま
間口変更リフォーム

P.10

壁付I型

壁付I型

ピッタリ納まる
間口調整リフォーム

P.12

セミオープン

セミオープン

間口そのまま
対面キッチンリフォーム

P.16

セミオープン

オープン

開放的なセンターキッチンに
リフォーム

P.18

セミオープン

オープン

L型キッチンを
オープンキッチンにリフォーム

P.20

リフォーム
対応部材
活用箇所

給水
給湯管

排水管

排気口

躯体構造
(柱・梁・壁)

既存窓

加熱機器



Before

マンションリフォームで圧倒的に多い、間口寸法はそのままでシステムキッチンを新しくするリフォーム事例です。

本事例では、梁を避けるため梁対応の薄型レンジフードを設置した上で、従来の開き扉タイプ収納をスライドストッカーへ変更し、壁面も一新。お施主さまのご要望にお応えする明るく使いやすいキッチンリフォームとなりました。



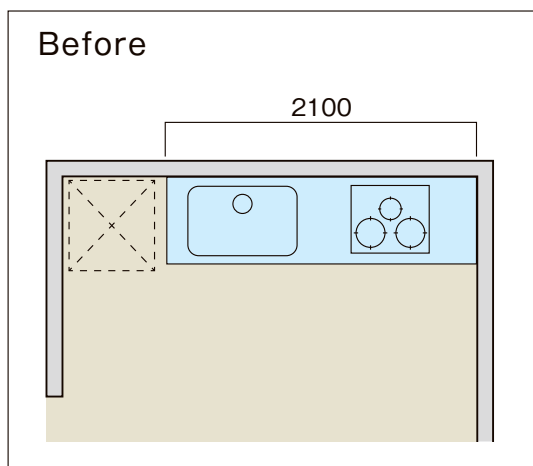
After

躯体構造
(柱・梁・壁)

躯体構造
(柱・梁・壁)

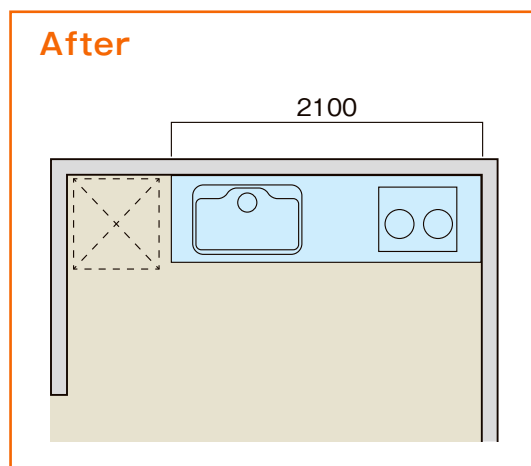
加熱機器

静岡県熱海市 システムキッチン シエラ



Before

2100



After

2100

リフォーム対応部材で、かんたん施工

躯体構造
(柱・梁・壁)

レンジフードの梁対応

➤ P.37

レンジフードの側壁にある梁は、梁対応レンジフードの前面化粧パネルを梁に合わせてカットすることで、キレイに仕上がります。
また、薄型のレンジフードは、機器の存在感を軽減できます。

ここが
便利



現場にて梁のサイズに合わせ、前面の化粧パネルをカットできます。
○梁サイズが前面化粧パネルの切り欠き可能範囲内に納まるか事前に確認してください。



躯体構造
(柱・梁・壁)

梁欠きふさぎ板

➤ P.33

ウォールキャビネット背面の梁に合わせて、キャビネットをカットし化粧板でカバーすることで、キャビネット内がキレイに仕上がります。

ここが
便利



現場にて梁のサイズに合わせ、キャビネットをカットし化粧板を取り付けられます。
○梁サイズがキャビネットの切り欠き可能範囲内に納まるか事前に確認してください。



加熱機器

低電気容量対応 IHヒーター

➤ P.44

一般的な契約アンペアである30Aで使える低電気容量のIHクッキングヒーターです。ガスコンロからIHクッキングヒーターにリフォームする場合も、契約アンペアをアップする必要がありません。

ここが
便利



マンションリフォームでは、契約アンペアの変更に管理会社(組合)への申し入れや、マンションへの引き込み線の変更といった工事が必要な場合がございます。低電気容量対応IHクッキングヒーターなら契約アンペアの変更が不要です。
○ご使用されている他の電化製品の種類や量により異なります。
○200Vの電気工事は必要です。



その他

その他リフォーム部材

既存の排気口が角形の場合、レンジフードのBFRFシリーズなら「角ダクト」を使用することで、そのままダイレクトに接続できる場合があります。➤ P.39

「キッチンパネル」は、既設のタイルの上に直張りができるので、壁面を簡単にリフォームできます。➤ P.45

リフォーム
対応部材
活用箇所

給水
給湯管

排水管

排気口

躯体構造
(柱・梁・壁)

既存窓

加熱機器



Before

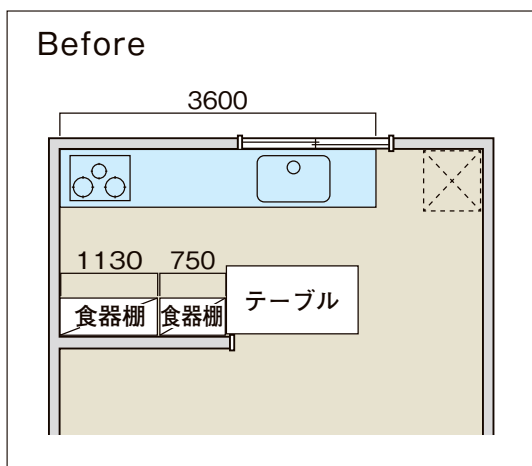
背面の収納ユニットに電子レンジの置き場を設け、システムキッチンの間口をコンパクトにしたリフォーム事例です。

本事例では、マンションなどに多いディスプレイ（生ゴミ粉碎機）に対応。薄型レンジフードに変更し、壁面もお手入れのしやすいキッチンパネルにするなど、使いやすさと空間の統一感を重視しました。

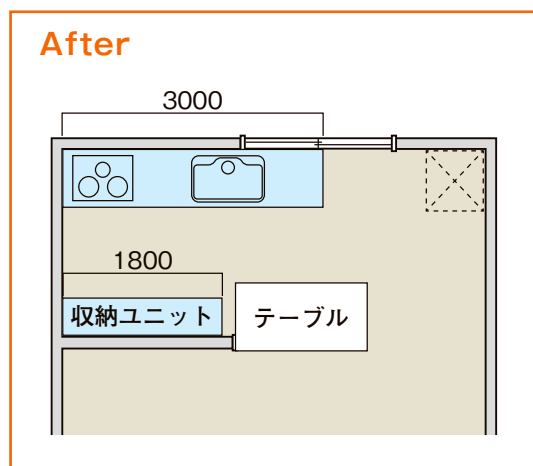


After

静岡県静岡市 システムキッチン アレスタ



Before



After

間口変更リフォーム

リフォーム対応部材で、かんたん施工

排水管

ディスポーザ対応キット + シンク

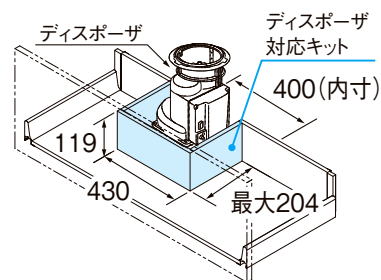
P.43

シンク下にディスポーザ（生ゴミ粉碎機）を設置する場合、**ディスポーザの位置に合わせスライドストッカーの引出し奥の切り欠きができます**。お施主さま要望に合わせ、使い勝手の良いスライドストッカーにディスポーザが設置できます。

ここが
便利

ディスポーザの位置に合わせ、現場で切り欠き加工をし納めることができます。

○設置するディスポーザが、スライドストッカーの引出し奥の切り欠き可能範囲内に納まるか事前に確認してください。



排気口

回転式フレキシブルダクト・レンジフード取り替え交換用キット

P.36

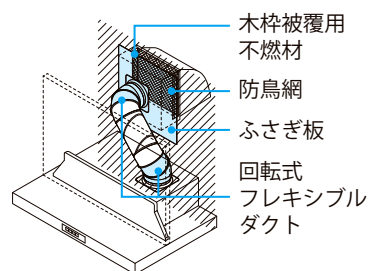
既存の排気口をそのまま使い、新たに設置したレンジフードの排気口と接続するために「回転式フレキシブルダクト」を活用。排気口の位置ずれ調整や排気方向の変更ができます。

ここが
便利

回転式フレキシブルダクトとレンジフードの排気口の接続は、スパイラルダクトで行えます。

こんな
部材も

取り替え交換用キット: プロペラファンの壁開口部をふさぎ、シロッコファンのダクトが接続できます。P.36



躯体構造
(柱・梁・壁)

キッチンパネル

P.45

壁面は、既設タイルの上に「キッチンパネル」を直張りすることも可能です。タイルをはつる必要がなく工期と施工コストを低減。手軽にキッチンをもっとキレイにリフォームできるので、お施主さまからの評判が高い部材です。

ここが
便利

お施主さまの要望やキッチンのカラーに合わせ、タイル調など、好きなカラーをお選びいただけます。



その他

その他リフォーム部材

「芯ずれ補正ダクト」は、同軸方向最大30mmまで芯ずれ補正が可能です。P.39

「既設配管対応キット」を使えば、既設の排水管はそのまま、スライド収納にリフォームできます。P.41

リフォーム
対応部材
活用箇所

給水
給湯管

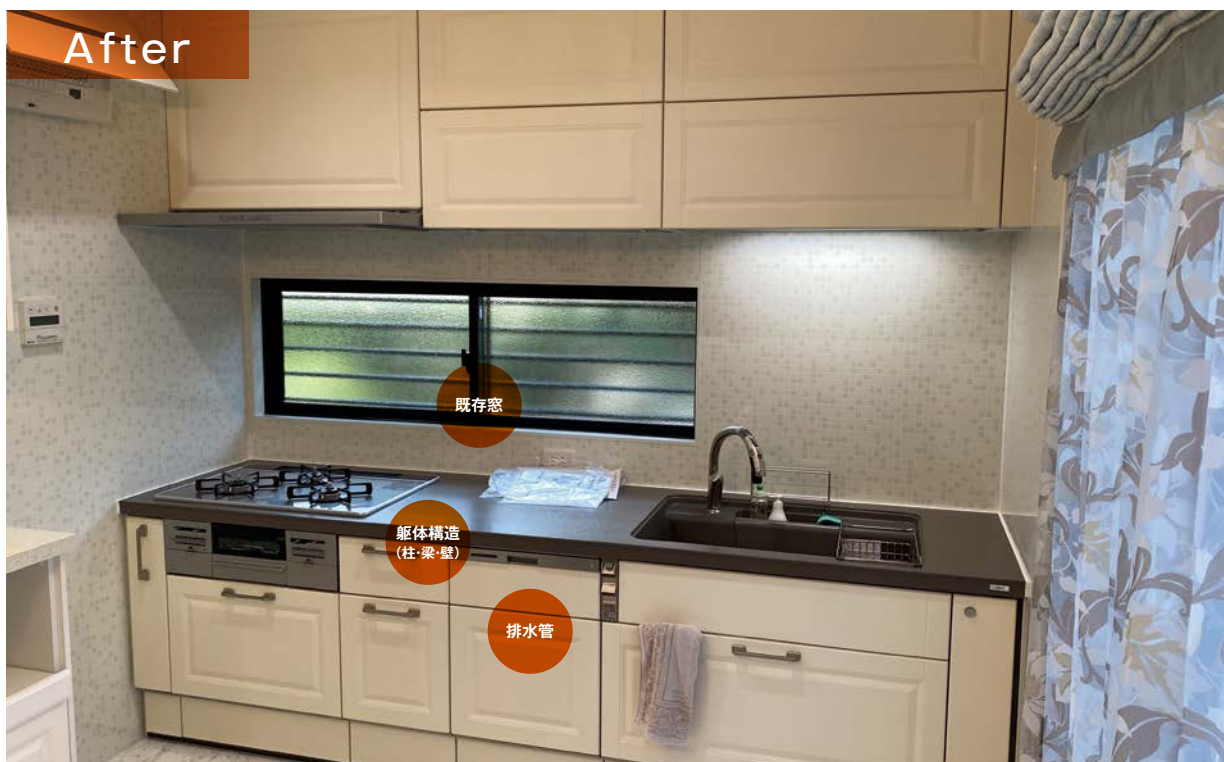
排水管

排気口

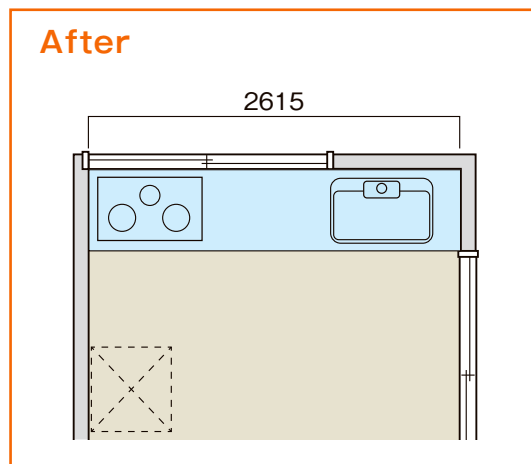
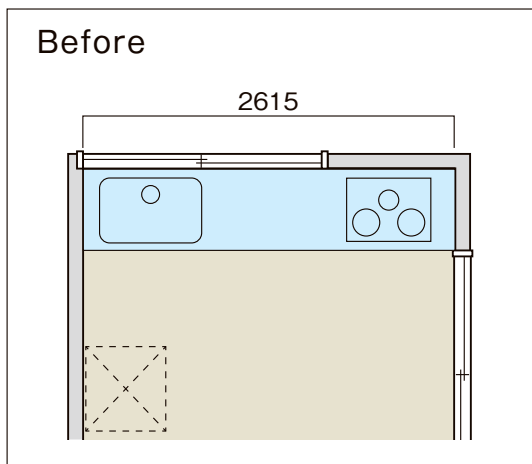
躯体構造
(柱・梁・壁)

既存窓

加熱機器



千葉県浦安市 システムキッチン リシェル



○実際の現場仕様と本資料で、ご紹介している仕様は異なる部分がございます。

○写真に掲載しているキッチン・機器の一部は仕様変更により、実際の製品と若干異なる場合がございます。

調整リフォーム

リフォーム対応部材で、かんたん施工

躯体構造
(柱・梁・壁)

間口対応ワークトップ + 10mmピッチ間口対応キャビネット (リシェルのみ)

> P.26・P.28

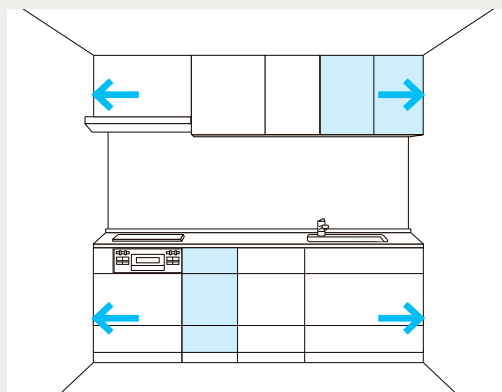
壁と壁の寸法が、システムキッチンの標準的な間口でない場合、ワークトップは5mmピッチでぴったりサイズに調整可能。リシェルのフロアキャビネットとウォールキャビネットも10mm単位で間口調整ができ、既存の間口に合わせキレイに仕上がります。

○紹介事例の現場では、キャビネットではなくフィラーで間口調整しています。

ここが
便利



間口対応キャビネットなら、見た目はもちろんフィラーなどでのデッドスペースがないキッチンに仕上げられます。



既存

キッチンパネル

> P.45

「キッチンパネル」は既設タイルの上から直張りでき、必要によりカットすることで、既存の窓枠や開口部を生かしながら、新たな雰囲気の空間に仕上げられます。

ここが
便利



タイルや窓枠を取りのぞく必要がなく、工事の手間を削減し、素早いリフォームが可能になります。



排水管

食器洗い乾燥機排水分岐管

> P.43

リフォームで新たに食器洗い乾燥機を取り付ける場合、既存のシンク排水管を分岐し活用することで、新たな排水管を設けずに、簡単に食器洗い乾燥機を設置できます。

食器洗い乾燥機設置の際は、排水管の他、電源と給湯接続もご確認ください。

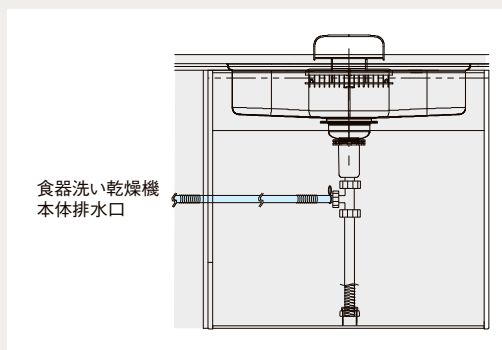
○パナソニック製ブルオープン（深型・浅型）および、アイリスオーヤマ製フロントオープン食器洗い機のみに対応です。

○それ以外のブルオープン/フロントオープン食器洗い乾燥機には使用できません。

ここが
便利



新たに排水管を立ち上げることなく、既存の排水管を使い食器洗い乾燥機を設置できます。



キッチンリフォーム 満足UPポイント

分割構造で構造壁にも対応できるセラミックトップ

➤ P.27

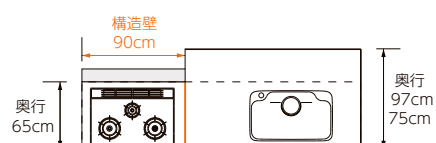
リフォーム時にどうしても解体できない構造壁。「せっかくリシェ
ルにリフォームするなら、セラミックトップの対面にしたい。」と
いうご要望にお応えし、分割構造での対応を可能に。構造壁が
あっても憧れのセラミックトップが実現できる他、オープン対面
キッチンならリビング側には裏面収納を設置し収納スペースも
確保できます。



ここが
便利



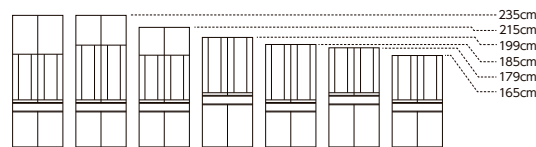
分割されているため1枚トップより軽く、運搬の負担が少なくなります。



天井高に合わせ、ピッタリ高さを選べる収納ユニット

➤ 各商品
カタログ

物件ごとで天井高が異なるリフォームでは、天井高に合わせ収納ユニットも
ピッタリ納めることが、空間をキレイに仕上げるうえで大切です。
LIXILの「収納ユニット」は、天井の高さや梁などに合わせ、高さを選択でき
るので、低天井のリフォーム物件でもすっきりと納めることができます。



○図はノットです。

ここが
便利



スライディングドアストッカーや家電収納などお施主
さまの要望に合わせ多彩な収納ユニットを選択して
いただけます。

こんな
部材も



「天井フィラー」を使えば、ウォールキャビネット上部
のすきまはもちろん、天井と収納ユニットをすきまなく
仕上げるができます。➤ P.32





解決2

リフォームのポイント

セミオープン キッチン

間口そのまま、対面キッ

リフォーム
対応部材
活用箇所

給水
給湯管

排水管

排気口

躯体構造
(柱・梁・壁)

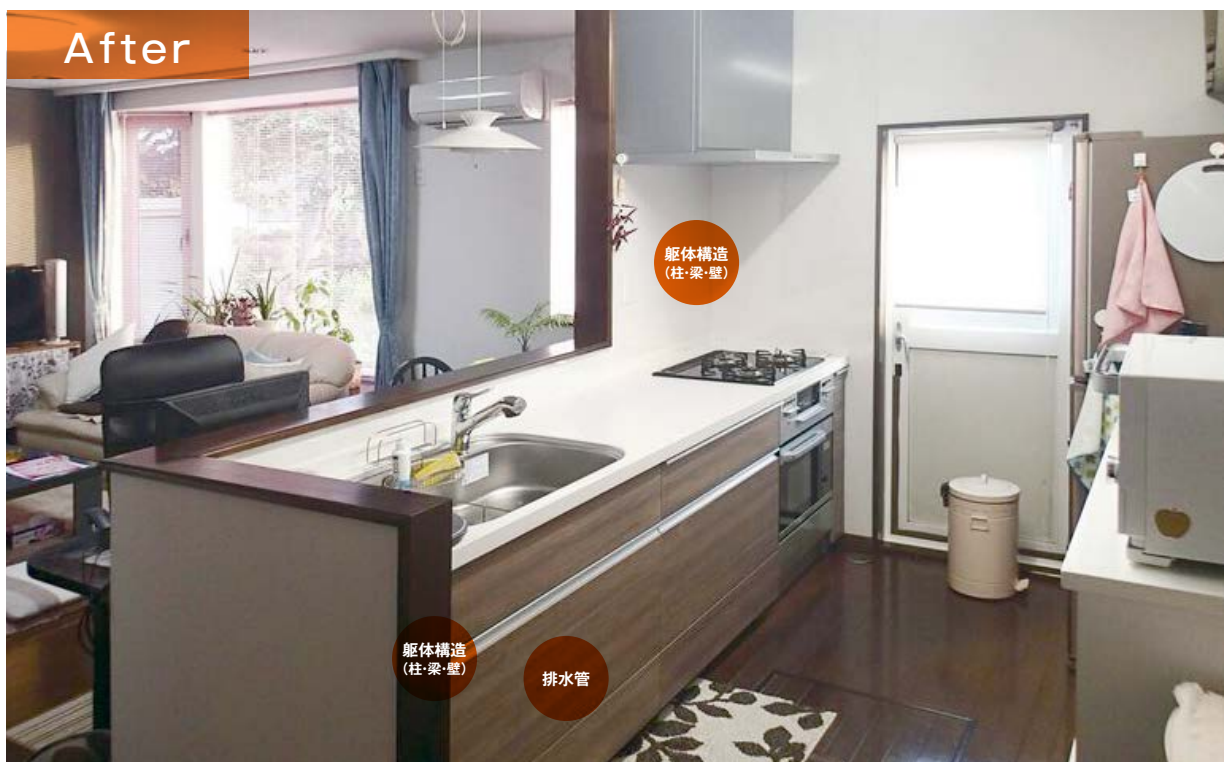
既存窓

加熱機器

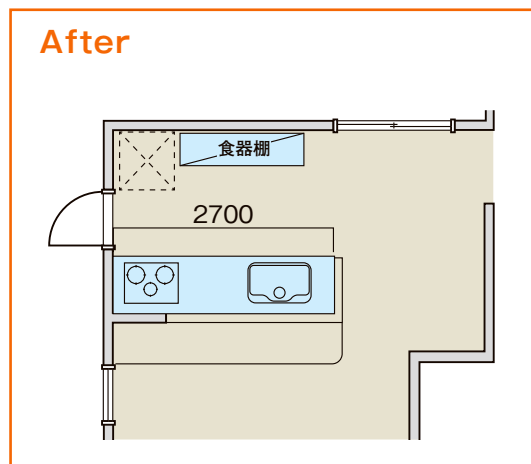
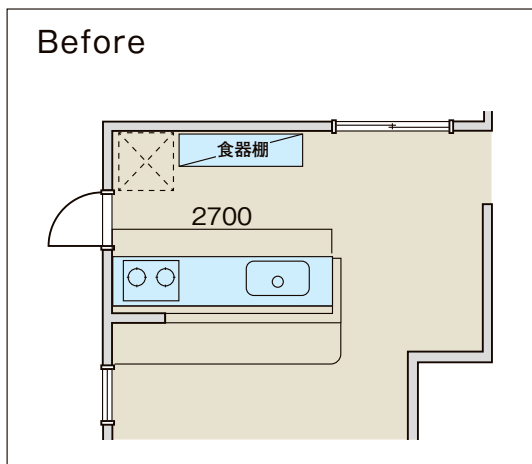


キッチン前の構造壁と腰壁をそのまま生かし、システムキッチンを新しくしたリフォーム事例です。

本事例では、既設の排水管や構造壁・腰壁はもちろん、既設のタイルもはつることなく、キッチンまわりを刷新。コストを抑え短期間で、お施主さまの望みをかなえる調理性の高い3口コンロに変え、使いやすく明るい対面キッチンにリフォームしています。



北海道岩見沢市 システムキッチン アレスタ



○実際の現場仕様と本資料で、ご紹介している仕様は異なる部分がございます。

○写真に掲載しているキッチン・機器の一部は仕様変更により、実際の製品と若干異なる場合がございます。

シンリフォーム

リフォーム対応部材で、かんたん施工

排水管

既設配管対応キット

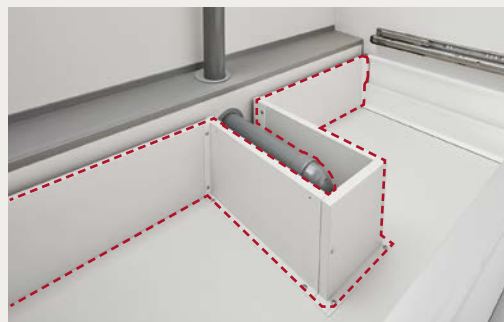
P.41

現場調査の際に既設排水管の立ち上げ位置を必ず確認し、排水管が手前にありスラブに埋設されているなど、**排水管立ち上げ位置を変えられない場合には、スライドストッカーの背板・底板を排水管の立ち上げ位置に合わせて既設配管対応キットを取り付けることで、大掛かりな工事を行わず、スライドストッカーを設置**できます。

ここが
便利



既設の排水管位置に合わせ、現場で基準寸法を元にフレキシブルに切り欠きができます。



躯体構造
(柱・梁・壁)

シンク用キャビネット フィラー仕様

P.31

腰壁の横にはシンク用キャビネット フィラー仕様を設置。
腰壁と引出しとの間に13mmのクリアランスがあるので、ピッタリと納めながら引出しが腰壁の笠木に当たることなく開閉ができます。

ここが
便利



設置方法も通常のシンク用キャビネットと同じなので、余分な手間がかからず工期も短縮できます。



躯体構造
(柱・梁・壁)

ペニンシュラI型 構造壁対応

P.28

加熱機器前の壁が構造壁で取り除けない場合、**加熱機器前の一部を切り欠いたセンターキッチン用のワークトップや、構造壁対応の対面キッチンユニットもご用意しています。分割構造とすることで、セラミックトップも構造壁対応が可能です。**

ここが
便利



対面キッチンユニットの「リビング収納タイプ」なら、キッチンとの一体感を損なわず、リビング側に収納スペースを確保できます。

こんな
部材も



キッチン前の壁が構造壁でなく取り除くことができる場合、開放感を演出するセンターキッチン ペニンシュラ型もおすすめです。➤[各商品カタログ](#)



解放的なセンターキッ

リフォーム
対応部材
活用箇所

給水
給湯管

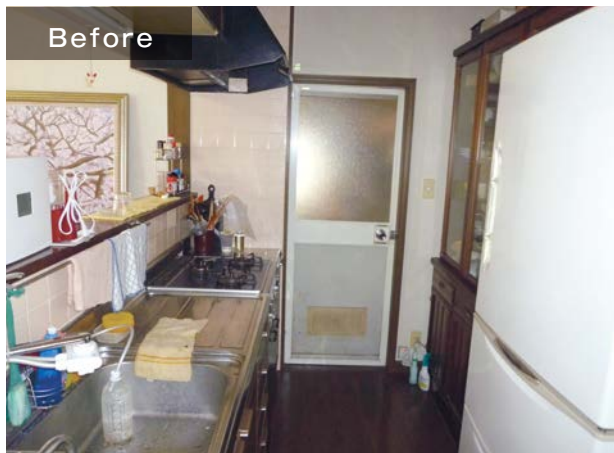
排水管

排気口

躯体構造
(柱・梁・壁)

既存窓

加熱機器



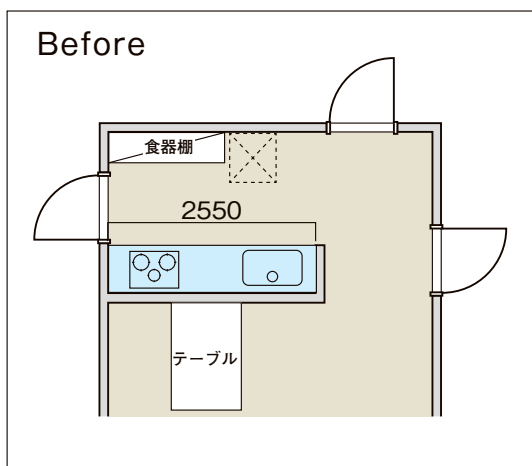
Before

キッチン前の腰壁を取り除き、解放的なセンターキッチンにしたリフォーム事例です。

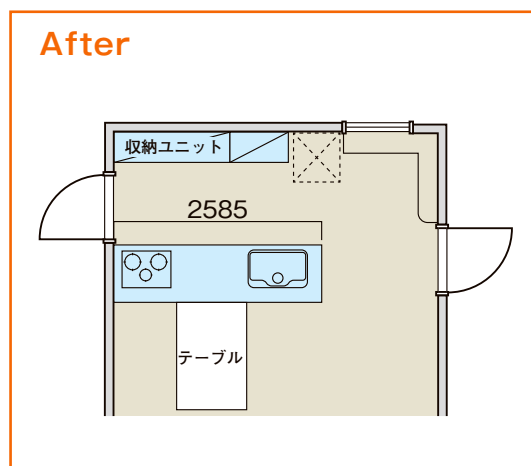
本事例では、既存のガス管や排水管に手を加えることなく、カウンター付のセンターキッチンを実現。工期をかけず、解放的なLDK空間の演出に成功したリフォーム事例です。



大分県佐伯市 システムキッチン リシェル



Before



After

チンにリフォーム

リフォーム対応部材で、かんたん施工

躯体構造
(柱・梁・壁)

センターキッチン ペニンシュラ型

各商品
カタログ

キッチン前の壁が取りのぞける場合、「センターキッチン ペニンシュラ型」を使えば、キッチンを設置するだけで開放的なLDK空間にリフォームできます。

加熱機器前には、ガラスパネルコンロ前全面タイプを設置することで、油ハネを抑えるとともにレンジフードの捕煙効率を高めリビングに煙が行かないように配慮。ガラスパネルなのでLDK空間としての開放感も高まります。



加熱機器

加熱機器位置移動

P.44

既設のガス管位置に合わせて加熱機器を移動させることで、大掛かりなガス管移動の工事が不要です。

ここが
便利



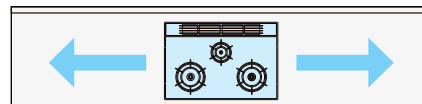
移動可能範囲内で加熱機器の移動ができるので、工期の短縮やコストの削減につながります。

こんな
部材も



加熱機器と同様にシンク位置も、移動可能範囲内で移動ができます。P.42

フィラーを使用することで
間口方向に5mm単位で移動可能です。



○対面キッチンユニットの場合、コンロ位置の移動はできません。
○ペニンシュラ!型の場合、コンロ位置は固定です。加工位置の変更はできません。

躯体構造
(柱・梁・壁)

奥行32cm系 システム収納

P.47

キッチンから背面の食器棚までのスペースが狭い場合、一般的な食器棚の奥行きより約15cmほどスリムな「奥行32cm系 システム収納」を使えば、ゆとりのある通路幅で、食器類の収納スペースも確保できます。カウンタープランやカップボードプランなどバリエーションも豊富で、お施主さまの要望に応えられます。

ここが
便利



吊り戸収納がなくてもシステム収納で収納量を確保することで、開放的で使いやすくリフォームができます。

こんな
部材も



狭い空間でもゆとりのある作業スペースが確保できる奥行60cmキッチンもご用意。P.46



L型キッチンを、オー

リフォーム
対応部材
活用箇所

給水
給湯管

排水管

排気口

躯体構造
(柱・梁・壁)

既存窓

加熱機器



Before

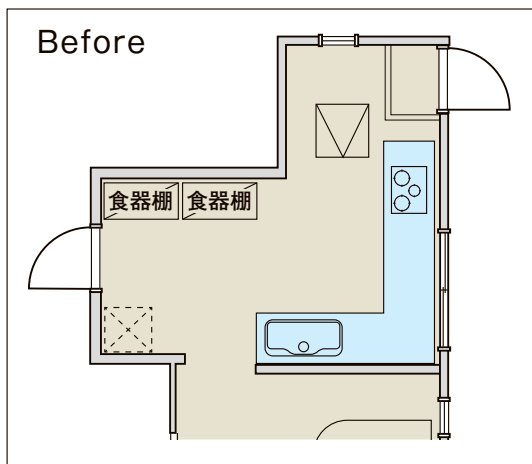
20年以上使用したL型キッチンをすっきりとしたオープンキッチンにしたリフォーム事例です。

本事例では、ウォールキャビネットをなくす代わりに収納ユニットを設置することで収納スペースを確保。既設の給排水管などは生かしながら、開放感があり、使い勝手にも配慮したオープンキッチンにリフォームしています。

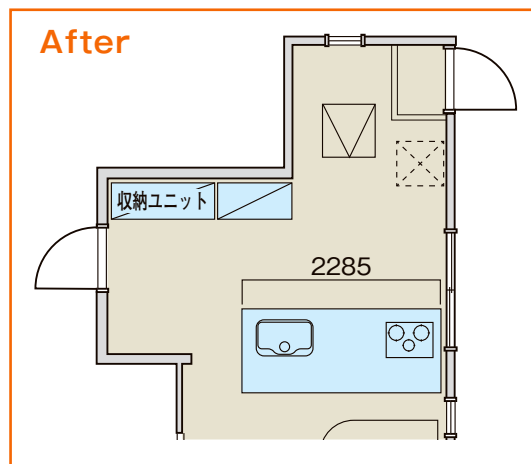


After

石川県金沢市 システムキッチン アレスタ



Before



After

ブンキッチンにリフォーム

リフォーム対応部材で、かんたん施工

躯体構造
(柱・梁・壁)

センターキッチン ペニンシュラ型

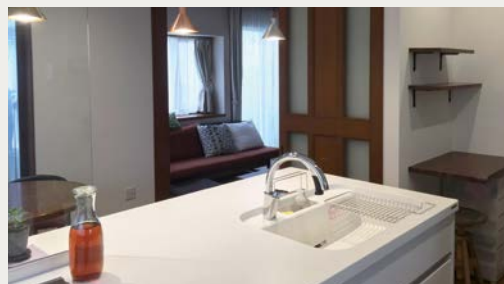
各商品
カタログ

キッチン前の壁を取りのぞき、「センターキッチン ペニンシュラ型」を設置するだけで解放的なLDK空間にリフォーム。フラットなワークトップはテーブルとしても活躍。家族との距離を縮め、LDK空間としてつながりも演出します。

ここが
便利



リビング側に収納スペースを設けたタイプも選択していただけます。



排水管

排水口接続位置

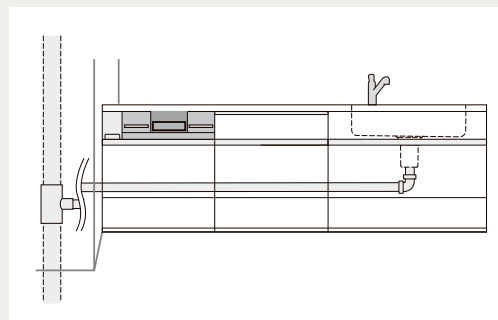
P.41

キッチンのレイアウト変更に伴い排水管位置の移動が必要な時は、シンク下の排水管のつなぎ位置を従来より高くすることで、シンクと排水本管が離れていても水勾配が確保できます。

ここが
便利



床面からトラップ下端までの高さを確保しているため、排水本管と離れていても水勾配を確保できます。



躯体構造
(柱・梁・壁)

キッチンパネル

P.45

加熱機器の側面の壁は、「キッチンパネル」を採用。リビングの壁紙と色を合わせることで、空間としての一体感を出し、油ハネなどのお手入れのしやすさにも配慮しています。

ここが
便利



既設壁のタイルを剥がすことなく直張りができるので、工期が短縮でき施工費も低減できます。



その他

その他リフォーム部材

「奥行32cm系 システム収納」は、スペースが限られているリフォームでも収納量を確保できます。 P.47

キッチンリフォーム 成功のコツ

最初の一步でつまづかない! リフォーム成功のカギは現調にあり!

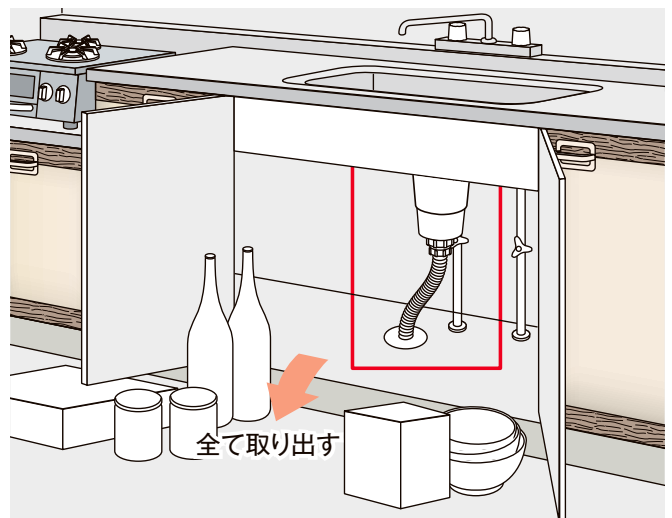
リフォームでトラブルが発生する原因のほとんどが、現場調査時の確認不足にあります。いざ施工を始めてみると、配管などが予想外の状況で、「対応できる工具がない」「用意していた部材が使えない」「シンク位置の移動などお施主さまが希望していたリフォームができない」など、工事が遅れてしまうだけでなく、信用を失う結果になりかねません。

とくに、排水管と排気口は、現場調査で確認しにくい場合があるので、正確にチェックしておきましょう。

排水管は材質、継手の位置までしっかり確認

- 排水管は、時代や施工会社、建築方式によってさまざまなタイプがあります。大きくは樹脂管と金属管に分かれますが、多様な材質があり、それぞれ専用の工具が必要になるので、現調時に必ず確認しておきましょう。その場で判断できない場合は、写真撮影をして設備業者に確認してください。
- 配管の継手の場所も、工事の準備を行う上で大切なポイントです。継手が適当な位置にない場合は、管を切断してつなぐ必要があり、必要な工具、部材が変わってきます。
- お施主さまは、現場調査を「キッチンの下見をするだけ」と考えていることが多く、キッチンは普段使っている状態のままのことがほとんどです。排水管を確認するには、シンク下の収納を開け、中の収納物を全て取り出す必要があります。長年使用された収納内部は汚れていることも多く、大変な作業になることもありますが、取り返しのつかないトラブルを避けるためにも、しっかりと調査をしましょう。

排水管の確認

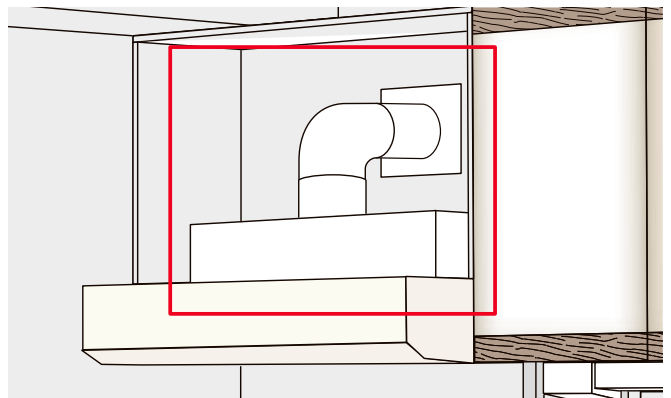


排水管の素材や継手の場所をしっかりと確認。
念のために写真を撮り設備業者への確認も忘れずに。

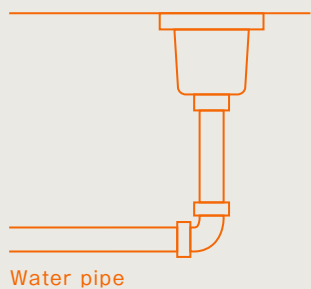
排気ダクトのルートとつなぎ方をチェック

- レンジフードまわりの確認も、現調時の大切なポイントです。排気ダクトがどのように排気口につながっているか、排気口の形・大きさ、つなぎ口の形などをチェックしてください。
- 幕板がコーキングされていて外せない場合は、換気扇のフィルタやファンを取り外し、内側から排気ダクトを確認しましょう。どうしても確認が難しい場合は、外壁の排気口の場合を調べてダクトのルートを推測したり、換気扇の品番を確認し製品情報を調べてみましょう。
- 連動線や同時給排気の有無についても確認を忘れないでください。レンジフードによっては、連動線に対応できないものがあるので、機器手配の際に留意してください。

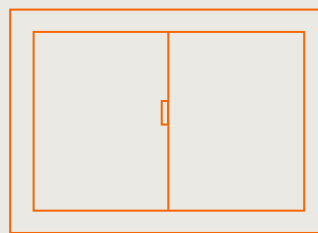
排気口の位置の確認



排気口への接続方法、排気口の形状、サイズ、継口形状などを確認。



Water pipe



Existing window

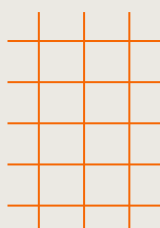
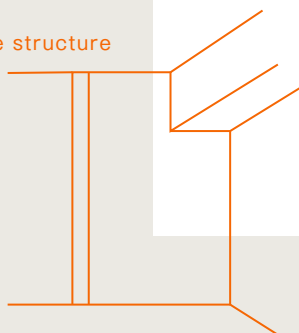


Heating equipment

全42種

リフォーム 対応部材 紹介

Building frame structure



Wall finishing



Water supply
Hot water supply pipe

LIXILのシステムキッチン紹介

リフォームしやすくなった!

RICHELLE

磨き究めた佇まい。味わい豊かな空間。

多様化するライフスタイルや価値観に合わせて、
磨き続けてきたセラミックトップの美しさと個性。
本質を究めたミニマルなデザインが醸し出す、
上質な佇まいと品格。
触れるたびに心が躍り、
使うほどに想いが深まるキッチンです。



Noct

暮らしが整う、心地よい毎日。
一番お気に入りの家具は、このキッチン。

家具のような素材感と空間に調和するデザインが、
自分らしく過ごせる“居場所”として、
落ち着きをもたらします。
料理が楽しくなり、大切な人との時間も豊かに彩る。
暮らしに寄り合い、お気に入りの家具のように、
ただそこにいるだけで心が満たされるキッチンです。



Shiera

暮らしが整う、心地よい毎日。
心も体も安らぐ快適なキッチン。

空間に調和するデザインは、
落ち着きをもたらし、
自分らしく過ごせる居場所に。
料理への負担を減らし、大切な人との時間も豊かに彩る。
毎日の動きにすとなじみ、暮らしを整える、
自然体のまま過ごせる心地よさをもたらすキッチンです。



キッチン別リフォーム対応部材 対応一覧

対応箇所	アイテム	リシェル	ノクト	シエラ	ページ
躯体納まり用部材	間口対応ワークトップ	●	●	●	P.26
	可変システム収納カウンター	●	●	●	P.26
	セラミックトップ分割対応	●	—	—	P.27
	セラミックトップ ペニンシュラI型 構造壁対応	●	—	—	P.27
	ペニンシュラI型 構造壁対応	●※1	●※2	●※2	P.28
	10mmピッチ間口対応キャビネット	●	—	—	P.28
	可変壁側設置フィラー	●	●	●	P.29
	可変パネルフィラー	●	●	●	P.29
	ボックスフィラー	●	—	—	P.29
	可変壁側設置フィラー/可変パネルフィラー 不燃仕様	●	●	●	P.30
	ヒモ材	●	●	●	P.30
	コンロ用キャビネット フィラー付	●	●	●	P.31
	シンク用キャビネット フィラー仕様	●	●	●	P.31
	キッチン総高さ	●	●	●	P.32
	天井フィラー	●	●	●	P.32
	梁欠きふさぎ材	●	●	●	P.33
	梁欠き対応ウォールキャビネット	—	●	●	P.33
	梁欠き対応フィラー	●	●	●	P.34
	ウォールキャビネット 高さ30cm	—	●	●	P.34
	可変エンドパネル	●	●	●	P.35
	不燃サイドパネル	●	●	●	P.35
排気・ 開口部用部材	レンジフードの低天井空間設置	●	●	●	P.36
	LERシリーズ	●	●	●	P.36
	回転式フレキシブルダクト/レンジフード取り替え交換用キット	●	●	●	P.36
	レンジフードの梁対応	●	●	●	P.37
	金属幕板端部保護カバー	●	●	●	P.38
	スライド金属幕板	●	●	●	P.38
	芯ずれ補正ダクト	●	●	●	P.39
	BFRFシリーズ + 角ダクト	入替・交換用			P.39
給排水管用部材	配管スペース	●	●	●	P.40
	排水口接続位置	●	●	—	P.41
	既設配管対応キット	●	●	●	P.41
	トレーボード	—	—	●	P.42
	シンク位置移動	●	●	●	P.42
	ディスプレイ対応キット	●	●	●	P.43
	食器洗い乾燥機排水分岐管	●	●	●	P.43
加熱機器用部材	加熱機器位置移動	●	●	●	P.44
	低電気容量対応 IHヒーター	●	●	●	P.44
壁仕上げ用部材	キッチンパネル	●	●	●	P.45
	マグネット対応キッチンパネル	●	●	●	P.45
狭小空間 対応用部材	キッチン 奥行60cm	●	●	●	P.46
	システム収納 奥行32cm系	●	—	—	P.47

※1:ステンレストップ(ソフトスクラッチ)のセンターキッチンには構造壁に対応しておりません。セラミックトップ構造壁対応はワークトップが2分割となります。
 ※2:ステンレストップは構造壁に対応しておりません。

間口対応ワークトップ

壁付型ワークトップは、5mm単位で間口対応が可能 お部屋にあわせてピッタリ

壁付I型からペニンシュラまで、幅広いレイアウトに対応しています。
セラミックトップも壁付型は5mmピッチで間口対応可能です。

●リシェルの「レイアウト別対応表」は26リシェル商品ガイドP.71をご確認ください。

●壁付型ワークトップ レイアウト別対応表（ノクトの場合）

レイアウト	奥行	ワークトップ材質	間口対応サイズ
壁付型I型 	奥行65cm	ステンレス	300~15cm
		人造大理石	
		リテックス	
壁付型L型 	奥行65cm	ステンレス	270~165cm
		人造大理石	
		リテックス	
壁付型L型 	奥行65cm	ステンレス	205~85cm(内寸)
		人造大理石	
		リテックス	

※図はステンレストップおよび人造大理石トップの場合です。

●センターキッチン ワークトップ レイアウト別対応表（ノクトの場合）

○5mm単位の間口対応はしていません。対応サイズは15cmピッチです。

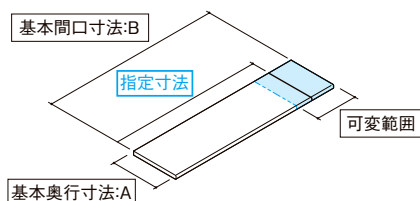
レイアウト	奥行	ワークトップ材質	間口対応サイズ
センターキッチン ペニンシュラI型 	奥行97cm	人造大理石	272.4~182.4cm
		リテックス	[272~182cm]
	奥行75cm	人造大理石	272.4~182.4cm
		リテックス	[272~182cm]
センターキッチン ペニンシュラI型 構造壁対応 	奥行97cm	人造大理石	272.4~227.4cm
		リテックス	
	奥行75cm	人造大理石	272.4~227.4cm
		リテックス	
センターキッチン アイランド型 	奥行97cm	人造大理石	274.8~184.8cm
		リテックス	[274~184cm]
	奥行75cm	人造大理石	274.8~184.8cm
		リテックス	[274~184cm]

○[]内寸法はリテックストップの場合を示します。

可変システム収納カウンター

収納用のカウンターは、1mm単位で間口対応が可能 お部屋にあわせてピッタリ

フロアキャビネット用のカウンターは、1mm単位でオーダーできます。（メラミンのみ）



●4種類の奥行き寸法に対応（シリーズにより対応奥行きが異なります）

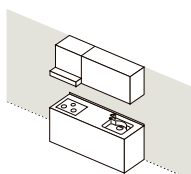
基本奥行寸法	奥行320mm用 (片面系)		奥行450mm用 (片面系)		奥行485mm用 (両面系)		奥行650mm用 (片面系)	
基本間口寸法	2700mm	2400mm	1800mm	1500mm	1200mm	900mm		
間口可変範囲	2401~	1801~	1501~	1201~	901~	300~		
	2700mm	2400mm	1800mm	1500mm	1200mm	900mm		

セラミックトップ分割対応

セラミックトップは間口511.5cmまで対応可能

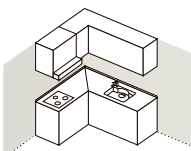
分割できるから楽に運べる

セラミックトップは、壁付I型で間口511.5cmが可能になります。
分割は間口240cmから対応しているため
エレベーター搬入が可能な現場にも活用できます。



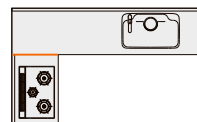
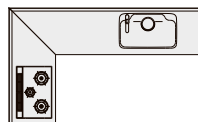
●壁付I型

プラン対応範囲	うち分割対応可能範囲
90～511.5cm	240～511.5cm (300cm超は分割のみ)



●壁付L型

プラン対応範囲
165～300cm



○セラミックトップのみL型接続部の継ぎ形状がオレンジ線部分に変わります。

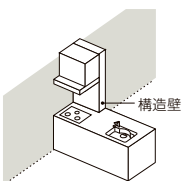
- 分割部の左右で柄の連続性ははありません。
- 分割位置はコンロ側のトップ端から90・105・180・181.5・240・241.5cmの位置で分割となります。
- 分割対応のワークトップのつなぎ目はキャビネットの側板で支えます。ワークトップのつなぎ目とキャビネットの端を合わせる様にレイアウトしてください。
- 深型タイプとフロントオープンタイプの食器洗い乾燥機は、ワークトップを支える側板がないため、ワークトップのつなぎ目位置に設置できません。

セラミックトップ ペニンシュラI型 構造壁対応

セラミックトップで提案が可能

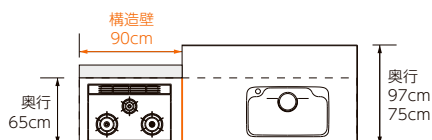
マンションリフォームにおすすめ

構造壁のあるレイアウトにもセラミックトップがしっかりフィット。リフォームでの選択肢を広げます。



●ペニンシュラI型構造壁対応

プラン対応範囲
180～270cm



○オレンジ線部分で現場にてシリコン接続となります。



リシェル

ノクト

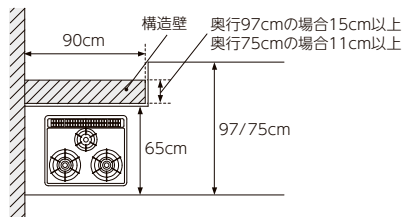
シエラ

ペニンシュラI型 構造壁対応

構造壁があってもオープンキッチンにリフォームできる 構造壁は生かして開放的に

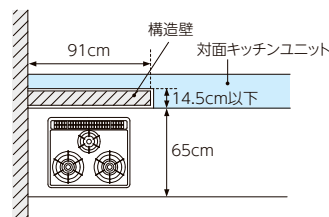
一部を切り欠いたセンターキッチン用ワークトップや対面キッチンユニットで構造壁にも対応、ペニンシュラI型のレイアウトが可能です。

● センターキッチンの場合



○リシェルのステンレストップ(ソフトスクラッチ)のセンターキッチンは構造壁に対応しておりません。セラミックトップ構造壁対応はワークトップが2分割となります。

● 対面キッチンユニットの場合 (リシェルのみ)



対応可能な対面キッチンユニット

●リビング収納タイプ 構造壁対応

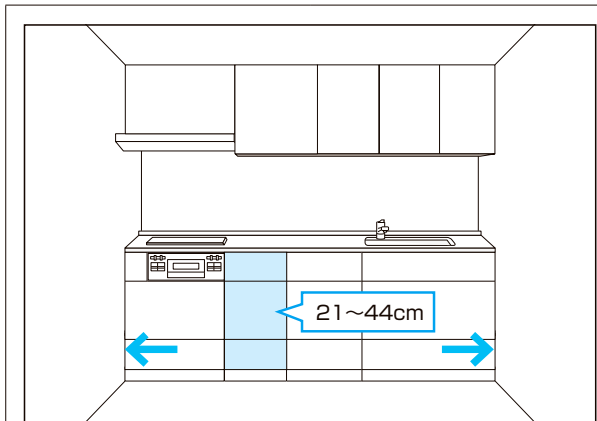


10mmピッチ間口対応キャビネット

フィラー不要で、10mm単位で間口対応が可能 お部屋にあわせてピッタリ

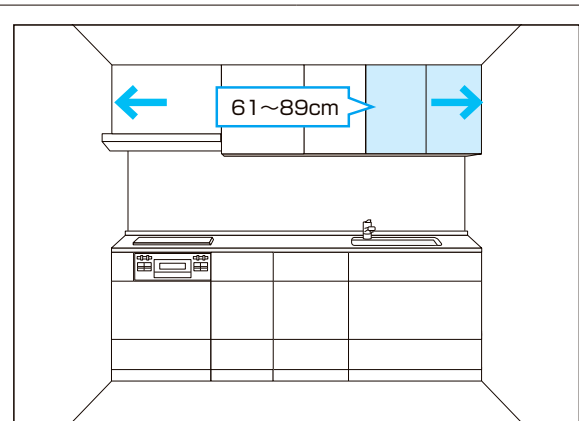
10mm単位でオーダーができる調理台キャビネットとウォールキャビネットです。フィラーを使わずにキレイに納められます。

フロアキャビネット 調理台用キャビネット 奥行65cm
スライドストッカー 3段引出し 10mmピッチ対応



対応間口：44～36/34～31/
29～26/24～21cm
○配管スペースありのみ対応。
○引出しトレイは設置できません。
○ステンレス底板のみ対応。
○間口35/25cmは通常の調理台用を選択してください。

ウォールキャビネット 高さ70/60/50cm
開き扉タイプ 10mmピッチ対応



対応間口：89～81/79～76/
74～61cm
○不燃仕様の設定はありません。
○間口80/75cmは通常の開き扉タイプを選択してください。

可変壁側設置フィラー

5~30mmまでの間口対応に ドア枠、幅木、コンセントなどを避けて間口ピッタリ

5mm単位で工場加工。フロアキャビネット、ウォールキャビネットに使用できます。

フロアキャビネット用



●ラインアップ

木製キャビネット用
システム収納高さ85cm系用
システム収納高さ99cm系用

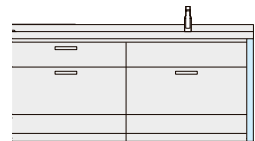
ウォールキャビネット用 (図は高さ90cm用)



●ラインアップ

高さ90cm用
高さ70/60cm兼用
高さ70cmアイレベル機能付用
高さ50cm用
システム収納高さ50cm用/冷蔵庫上部用
システム収納高さ90cm用
システム収納高さ70cm用

●設置例



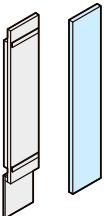
○不燃仕様ではないためレンジフードに接しての設置はできません。○フィラーはキャビネット木口色になります。扉カラーには対応していません。

可変パネルフィラー

20~145mmまでの間口対応に お部屋にあわせてピッタリ

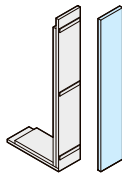
5mm単位で工場加工。フロアキャビネット、ウォールキャビネットに使用できます。

フロアキャビネット用



●ラインアップ

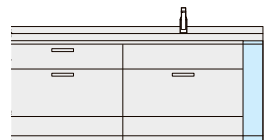
木製キャビネット用
システム収納高さ85cm系用
システム収納高さ99cm系用



●ラインアップ

高さ90cm用
高さ70cm用
高さ70cmアイレベル機能付用
高さ60cm用
高さ50cm用
システム収納高さ50cm用/冷蔵庫上部用
システム収納高さ90cm用
システム収納高さ70cm用

●設置例



○キャビネット間(片側壁面以外)へ設置する場合は、パネル側面の片側がシート仕上になることをお客さまにご説明してください。
○不燃仕様ではないためレンジフードに接しての設置はできません。
○内部には収納できません。

ボックスフィラー

150~300mmまでの間口対応に 現場加工でピッタリ収納

現場加工で簡単に組み立て可能。内部は収納スペースに活用できます。

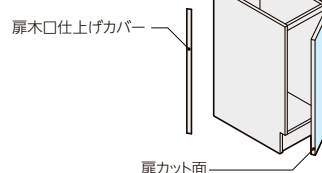
フロアキャビネット用

W300×D550×H(878/828/778) mm

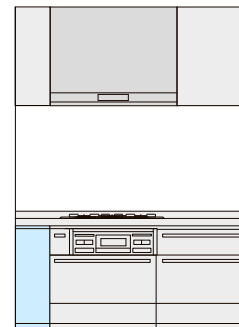
○現場取付時
○奥行65/60cm共用

間口現場加工

○扉はヒンジと逆側をカットします。カット面の木口仕上げカバーはグレー色です。フロアキャビネット扉の木口とは色が異なります。



●設置例



リシェル

ノクト

シエラ

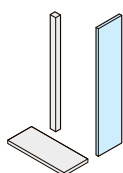
可変壁側設置フィラー/ 可変パネルフィラー 不燃仕様

レンジフードと壁とのすき間もキレイに納める レンジフード脇もピッタリ

パネルフィラー不燃仕様および壁側設置フィラー不燃仕様は、レンジフードと壁面との間に設置できます。

パネルフィラー不燃仕様

壁側設置フィラー不燃仕様



●ラインアップ

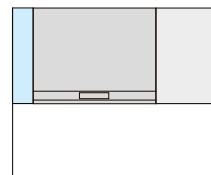
対応間口:30~145mm
5mm単位で設定
扉カラー対応



●ラインアップ

対応間口:10/15mm
キャビネット木口色

●設置例



- レンジフードとウォールキャビネットの間やウォールキャビネットのオープン側には設置できません。
- 内部には収納できません。

リシェル

ノクト

シエラ

在庫対応品

在庫対応品

ヒモ材

横壁の突起物などから、適切なクリアランスを保つ ドア枠、幅木、コンセントなどを避けてキャビネットを設置

設置する横壁に幅木やコンセントなど突起物がある場合でも、「ヒモ材」を使うことで引出しなどが当たらないようにすることができます。

大型収納用

W15×D80×H2400mm

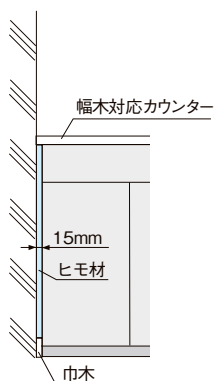


カウンターキャビネット用

W15×D80×H1000mm

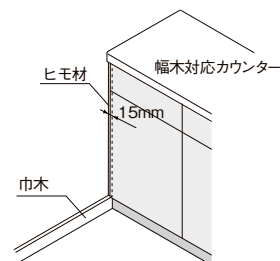


●設置例



施工のポイント

ヒモ材の納まりはキャビネット面に合わせるように設置してください。幅木が出ている場合は、引出しだけでなく開き扉でも入れた方がキレイな仕上がりになります。



- ヒモ材はキャビネット木口色になります。扉カラーには対応していません。

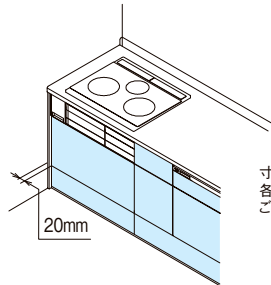
コンロ用キャビネット フィラー付

キャビネットと壁の間にできた隙間は、5mm単位で調整可能

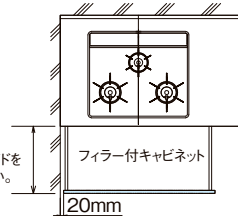
ドア枠、幅木、コンセントなどを避けてキャビネットを設置

コンロ用キャビネット フィラー付の引出しは20mmのクリアランスがあく設定になっています。

さらに大きくドア枠、幅木、回り縁、壁付コンセントを避ける場合は、フィラーなしキャビネットの隣に壁側設置フィラーまたはパネルフィラーを設置してください。

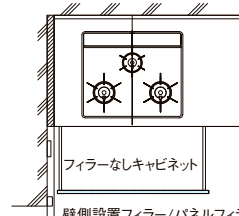


寸法は各商品ガイドをご覧ください。



通常扉のクリアランスは20mmになります。

○20mm以上必要な場合



壁側設置フィラー対応間口:5~30mm
パネルフィラー対応間口:20~145mm

● コンロ用キャビネット フィラー付 対応表 (リシェル 奥行65cmの場合)

フロアキャビネット		間口		
		90cm	75cm	60cm
グリル付きコンロ用 グリルレスコンロ用	らくパツと収納付 (シェルフ付)	○	○	—
	らくパツと収納付 (シェルフなし)			
	スライドストッカー			
間口45cmコンロ用	ガスコンロ用 / IHヒーター用	—	—	○

○コンロ側がオープンになる場合は、フィラーのないキャビネットを選択してください。

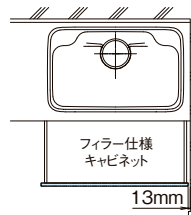
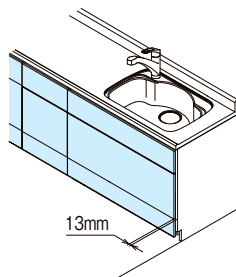
シンク用キャビネット フィラー仕様

引出しタイプのキャビネットの壁際設置が可能

幅木、コンセントなどを避けキャビネットを設置

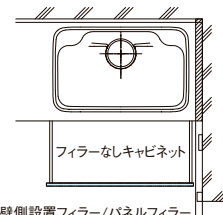
シンク用キャビネット フィラー仕様の引出しは13mmのクリアランスがあく設定になっています。

さらに大きくドア枠、幅木、回り縁、壁付コンセントを避ける場合は、フィラーなしキャビネットの隣に壁側設置フィラーまたはパネルフィラーを設定してください。



通常扉のクリアランスは2mmですが13mmになります。

○13mm以上必要な場合



壁側設置フィラー / パネルフィラー
壁側設置フィラー対応間口:5~30mm
パネルフィラー対応間口:20~145mm

○シンク用キャビネットはフィラー仕様ではないキャビネットが標準です。
必要に応じてフィラー仕様を選択してください。

● シンクキャビネット フィラー仕様 対応表 (リシェル 奥行65cmの場合)

フロアキャビネット		間口		
		105cm	90cm	75cm
シンク用	らくパツと収納付 (シェルフ付)	○	○	○
	らくパツと収納付 (シェルフなし)			
	スライドストッカー			

○シンク側がオープンになる場合は、フィラーのないキャビネットを選択してください。

リシェル

ノクト

シエラ

キッチン総高さ

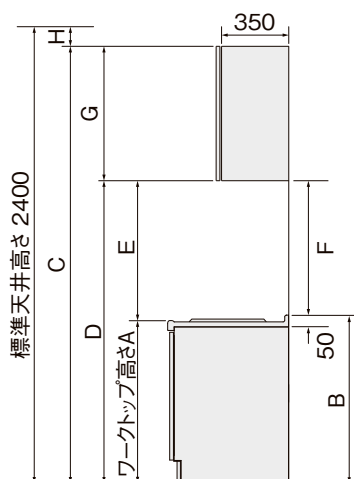
天井高や身長に合わせて、キッチン総高さが選べる 火災報知器、照明器具などを避ける

天井に取り付けられた火災報知器や照明器具などがウォールキャビネットの扉開閉に干渉する場合がございます。また、現場によりウォールキャビネットの扉開閉が水平にならない場合がございます。

ウォールキャビネットの扉開閉をスムーズに行うため、天井との間に50～100mmのスペースを空け取り付けることを基本とした上で、お施主さまの身長などに合ったキッチン総高さを選択してください。

(単位:mm)

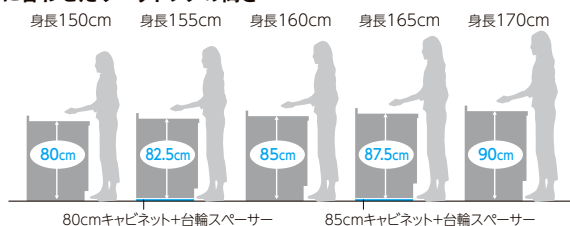
●標準高さ図(リシェルの場合)



ワークトップ 高さA	B	C	D	E	F	G	H
800	850	2300	1600	800	750	700	100
825	875	2325	1625	800	750	700	75
850	900	2350	1650	800	750	700	50
875	925	2325	1725	850	800	600	75
900	950	2350	1750	850	800	600	50

参考

身長に合わせたワークトップの高さ



○ワークトップ高さ825mm、875mmはリシェルでのみ対応しています。

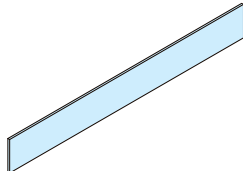
天井フィラー

天井とウォールキャビネットの隙間をふさぐ 火災報知器、照明器具などを避けピツタリ

天井高に合わせてカットして使用できます。扉色対応のほかシルバー・ブラック・ホワイト色があります。

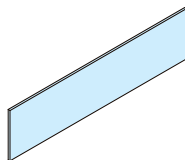
天井高2400mm以下の場合

W1810×D9×H220mm

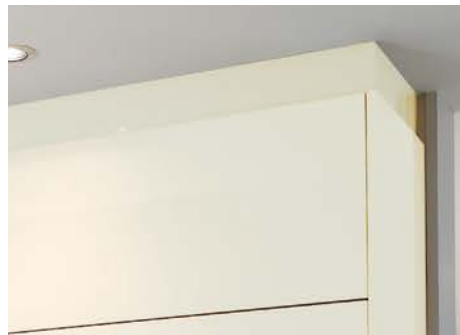


天井高2410mm以上2700mm以下の場合

W1810×D9×H450mm



○天井高2700mmまでなら、天井とのすきまに合わせて長手方向でカットすることで、上記天井高に応じた1枚の天井フィラーで、前面と側面の隙間をふさぐことができます。(レイアウトの間口によっては、フィラーの継ぎ目が発生します。)



梁欠きふさぎ材

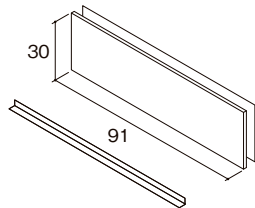
ウォールキャビネット背面の梁や窓枠に対応

梁、窓枠を避けウォールキャビネットを設置

梁欠きや窓枠欠き対応に必要な化粧板や金具・ねじがセットになっています。普通のウォールキャビネットを現場カットし、ふさぎ材を取り付けます。

ウォールキャビネット用梁欠きふさぎ材

パーチ化粧板 D1.5cm
ラワン化粧板 D0.3cm

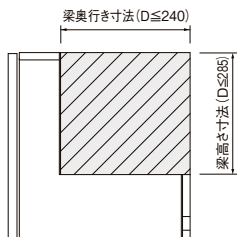


○セット内容

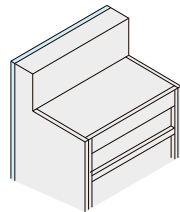
天板ふさぎ材（パーチ化粧板）1枚
背板ふさぎ材（ラワン化粧板）1枚
背板補強棧（パーチ材）1本
天板補強棧（パーチ材）1本
背板ふさぎ受け（樹脂材）4本
天板固定棧（合板／無垢材）1本
L型エッジ 1本
L金具 4個
部材取付けネジ 3種40本

●梁欠き加工・対応寸法

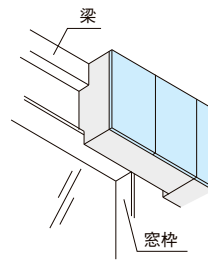
最大 D240×H285mm



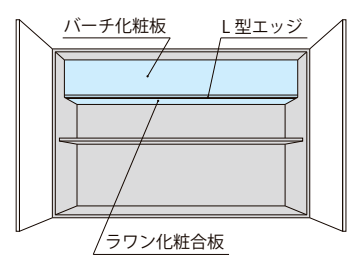
●梁欠きイメージ図



●設置イメージ図

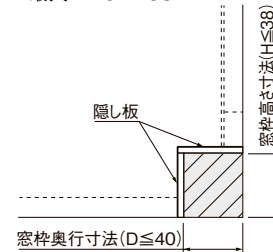


●梁欠きふさぎ材イメージ図

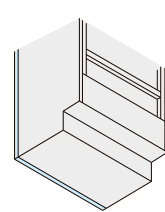


●窓枠欠き加工・対応寸法

最大 D40×H38mm



●窓枠欠きイメージ図



❗ 以下のキャビネットは梁欠き及び窓枠欠きができませんのでご注意ください。

梁欠き不可キャビネット

- ・ダウンウォール
- ・昇降式バスケット
- ・オートダウンウォール
- ・L型コーナー用

窓枠欠き不可キャビネット

- ・高さ90cm 水切棚
- ・クイックパレット
- ・オートダウンウォール
- ・L型コーナー用
- ・クイックポケット
- ・ダウンウォール
- ・昇降式バスケット

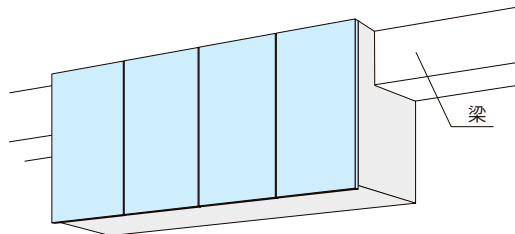
梁欠き対応ウォールキャビネット

ウォールキャビネットの側壁に梁がある場合に

側壁の梁を避けウォールキャビネットを設置

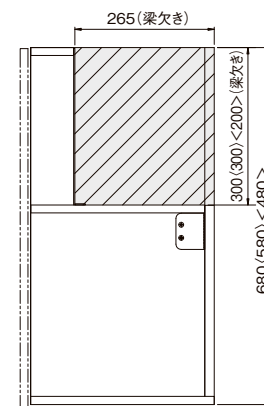
●対応可能寸法

事前に梁と窓枠の寸法を確認してください。

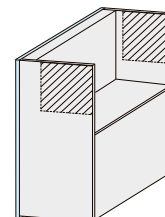


梁欠き加工

ウォールキャビネット高さ	梁欠き寸法
H700/600	最大 D265×H300mm
H500	最大 D265×H200mm



●梁欠きイメージ図



梁寸法に合わせてウォールキャビネットの側板を切欠いて使用します。

梁欠き対応フィラー

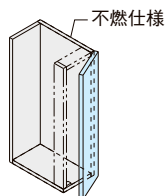
ウォールキャビネットの側壁に梁がある場合に

側壁の梁を避けウォールキャビネットを設置

側壁に梁がある場合の対応部材です。梁欠きは現場加工です。右勝手・左勝手があります。

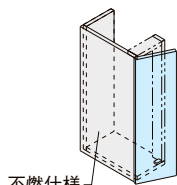
梁欠き対応フィラー リシェル

W200×D375×H(700/600/500)mm



左勝手

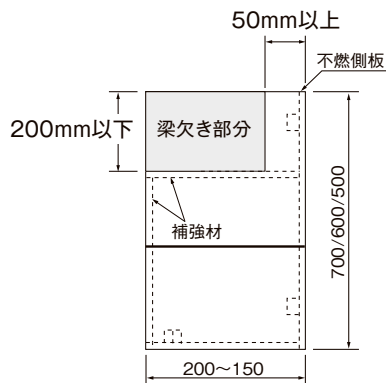
(図は高さ70cm用)



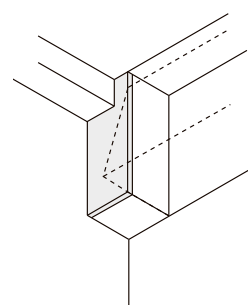
右勝手

○内部には収納できません。

●対応可能寸法（正面から見た図）

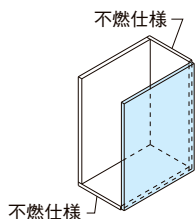


●梁欠きイメージ図

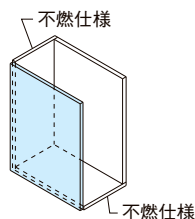


梁欠き対応フィラー ノクト・シエラ

W(450/300/150)×D375
×H(700/600/500)mm



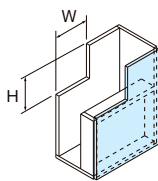
左勝手



右勝手

○内部には収納できません。

●対応可能寸法



フィラー間口	W寸法
45cm	最大350mm
30cm	最大200mm
15cm	最大50mm

フィラー高さ	H寸法
70cm	最大500mm
60cm	最大400mm
50cm	最大300mm

ウォールキャビネット 高さ30cm

加熱機器周りの収納容量アップに

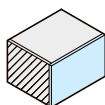
レンジフード配管下のスペースを有効活用

ノクトとシエラでは高さ30cmのウォールキャビネットをご用意しています。レンジフードと側壁との間に排気ダクトスペースがある場合、下方に設置することで収納スペースとして有効に活用できます。

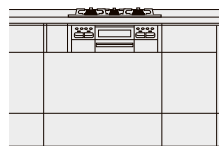
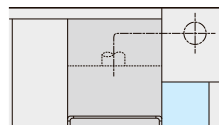
ウォールキャビネット 高さ30cm 開き扉

対応間口:45cm/30cm/15cm

ノクト・シエラ 奥行37.5cm系



●設置イメージ図



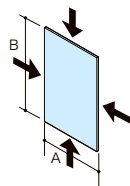
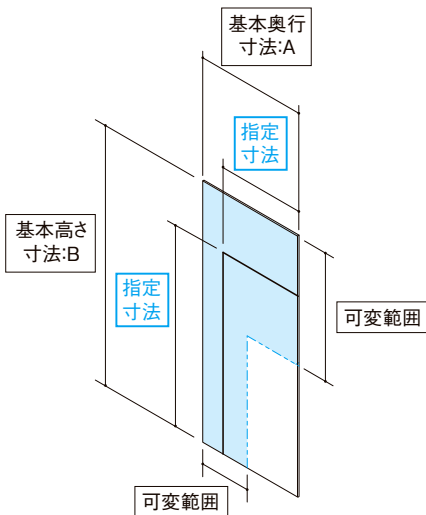
- 側面・底面不燃仕様のみとなります。
- 間口45cmはヒンジが片側3個仕様となります。
- 棚板はありません。

可変エンドパネル

現場に合わせた最適サイズのパネルをご提供 キッチンの側面をキレイに仕上げる

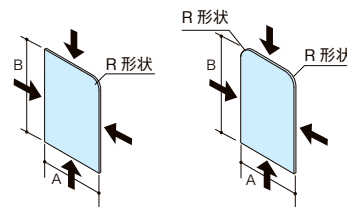
「角形状」「角R形状」「2角R形状」※1の3つの形で、最大奥行900～300mm、最大高さ2400～300mmに対応。可変範囲内で1mmピッチで工場加工してご提供します。

●可変エンドパネル「角形状」可変範囲



奥行	基本寸法:A	可変範囲
	900mm 450mm	900～451mm 450～300mm
高さ	基本寸法:B	可変範囲
	2400mm 1200mm	1201～2400mm 801～1200mm
	800mm	300～800mm

●可変エンドパネル「角R形状」「2角R形状」※1 可変範囲



奥行	基本寸法:A	可変範囲
	900mm	900～300mm
高さ	基本寸法:B	可変範囲
	2400mm 1200mm	1201～2400mm 801～1200mm
	800mm	300～800mm

○➡は仕上げ面を示します。

※1 「2角R形状」はリシェルのみとなります。

不燃サイドパネル

間取りに合わせてキッチンと収納ユニットを並べる コンロの隣に収納ユニットを設置

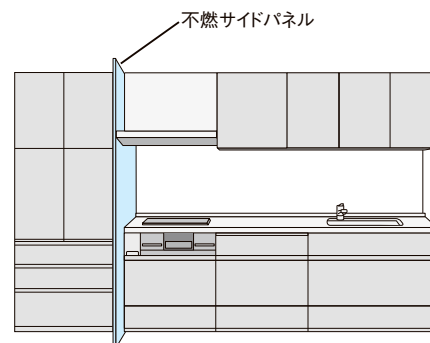
レンジフードの横に収納ユニットを設置する場合、レンジフードと収納ユニット間に不燃サイドパネルを設置してください。

不燃サイドパネル

W18×D655×H2400mm
(ノクト/シエラの場合はW15)



●使用例



○不燃サイドパネルは扉カラーには対応していません。

リシェル

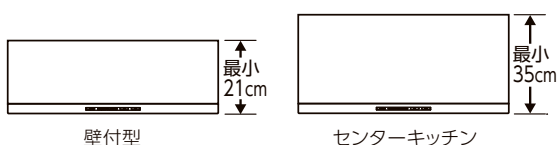
ノクト

シエラ

レンジフードの低天井空間設置

キッチンの背面の壁が下がっている場合など低い天井にも設置できる

低天井でもセンターキッチン対応



対応機種

LERシリーズ (壁付用) / SERE・SERシリーズ (センターキッチン用)

- 対面設置キットでペニンシュラレイアウト、アイランドレイアウトにも設置できます。
- サイドマントルタイプは最小46cmです。
- 対応可能な天井高さはワークトップ高さや離隔距離によって異なります。
- 記載寸法は上方排気の場合です。排気方向により寸法は異なります。

LERシリーズ

シロッコファンに簡単リフォーム

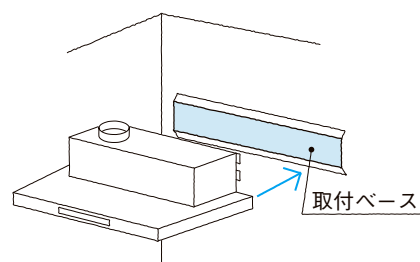
既存の換気扇口をそのまま活用

既存の換気扇口を生かしてシロッコファンに変更できる、リフォーム向けレンジフード。背面の壁が下がっている場合など低い天井にも設置できます。

間口90cm用	間口75cm用	間口60cm用
W900×D607×H(700/600/500/400)mm	W750×D607×H(700/600/500/400)mm	W600×D607×H(700/600/500/400)mm



○化粧パネル・金属幕板は別売です。



本体高さ21cmから設置が可能なリフォーム向けレンジフード。同梱のパーツを使用して既存の下地位置に合わせられます。

リシェル

ノクト

シエラ

回転式フレキシブルダクト/ レンジフード取り替え交換用キット

既存の壁開口部に使い、シロッコファンを接続できる

既存の壁開口部をそのまま活用

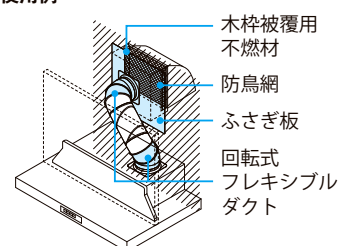
プロペラファン用など既存の壁の開口部をそのまま活かし、現場状況に合わせて柔軟にシロッコファンが設置できます。

回転式フレキシブルダクト φ150mm、シロッコファン用	レンジフード取り替え交換用キット シロッコファン用 W500×H500mm
	ふさぎ板 木枠被覆用不燃材 防鳥網



鋼板製の排気ダクトを用意しています。市販の排気ダクトを使用する場合は、消防法上ジャバラダクトは使用できませんのでご注意ください。

●使用例



レンジフードの梁対応

梁部分を切り欠き、レンジフードが設置できる

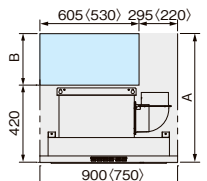
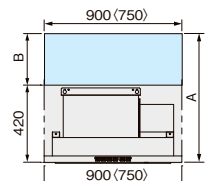
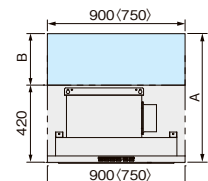
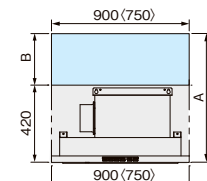
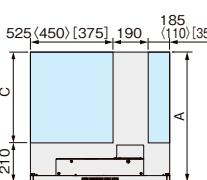
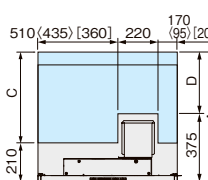
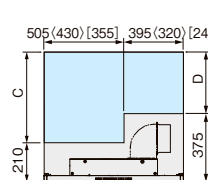
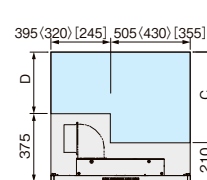
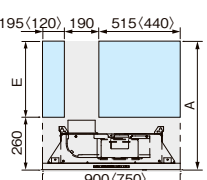
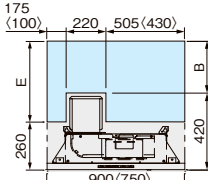
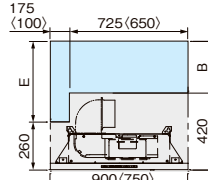
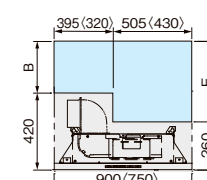
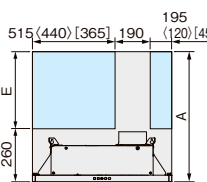
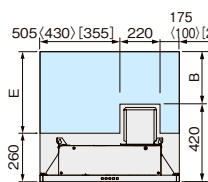
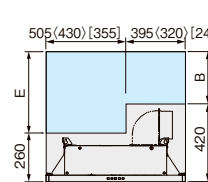
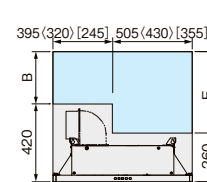
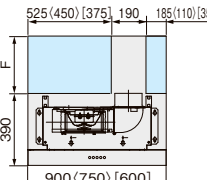
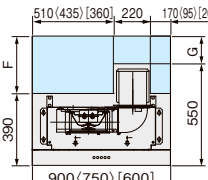
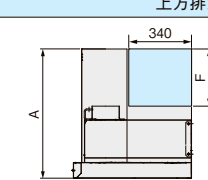
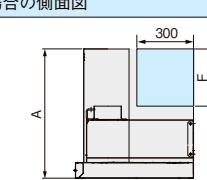
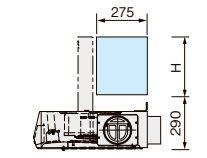
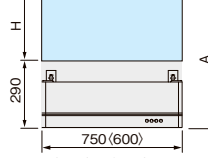
梁を避けレンジフードを設置

奥の壁・側壁に梁がある場合は、梁の切り欠き可能範囲に納まるレンジフードをお選びください。

(単位:mm)

レンジフード高さ	A	B	C	D	E	F	G	H
700	700	280	490	325	440	310	250	410
600	600	180	390	225	340	210	150	310
500	500	80	290	125	240	110	50	210

梁の切り欠き可能範囲

	上方排気の場合	後方排気の場合	右側排気の場合	左側排気の場合
CLSシリーズ	 ○R:右仕様 ○対面設置セットを使用した場合は梁対応はできません。	 ○R:右仕様 ○対面設置セットを使用した場合は梁対応はできません。	 ○R:右仕様 ○対面設置セットを使用した場合は梁対応はできません。	 ○L:左仕様 ○対面設置セットを使用した場合は梁対応はできません。
LEERシリーズ	 ○R:右仕様	 ○R:右仕様	 ○R:右仕様	 ○L:左仕様
SERE/SEERシリーズ	 ○対面設置セットを使用した場合は梁対応はできません。	 ○対面設置セットを使用した場合は梁対応はできません。	 ○対面設置セットを使用した場合は梁対応はできません。	 ○対面設置セットを使用した場合は梁対応はできません。
ASRシリーズ	 ○R:右仕様	 ○R:右仕様	 ○R:右仕様	 ○L:左仕様
GSRシリーズ	 ○R:右仕様	 ○R:右仕様	上方排気の場合の側面図  間口900(750)の場合  間口600の場合	
BFRSシリーズ	側方後方排気の場合の側面図 			 ○R:右勝手、L:左勝手共通です。

○〈 〉内は間口75cm、[]内は間口60cmになります。 ○その他の機種については各商品ガイドをご確認ください。

リシェル

ノクト

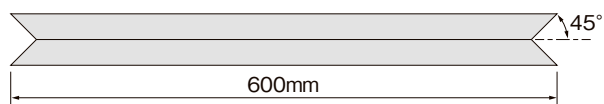
シエラ

金属幕板端部保護カバー

梁欠き対応でカットした金属幕板のカット面をカバー

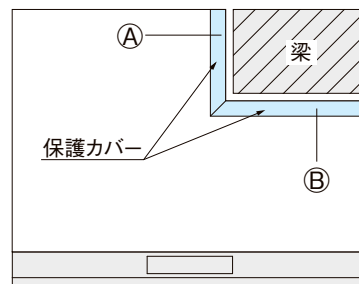
カット面を簡単・キレイに仕上げる

レンジフードの金属幕板を梁欠き対応でカットした場合、金属幕板の端部を保護できます。カット面をそのまま露出させたり、シーリングで仕上げることなく簡単にキレイに仕上げられます。



カラーは、シルバー、ホワイト、ブラックの3色から選べます。

●使用例



○保護カバーをカットし、左図のように設置します。①+②が600mm以上の場合は2本ご用意ください。

スライド金属幕板

レンジフードの金属幕板の高さを現場で調整できる

フード総高さに合わせ現場でピッタリ

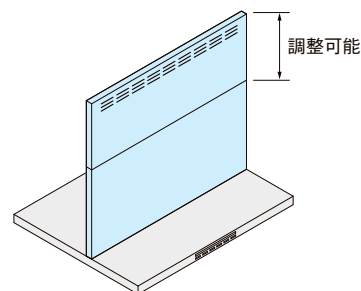
レンジフードの金属幕板をスライドさせることで、フード総高さを現場で調整できます。(900mm用/750mm用/600mm用/横幕板用) 取り付けられるレンジフードは、CLS、TAR、SKR、LER、SER、SERE、ASRシリーズのみです。同時給排仕様には取り付けられません。

調整可能範囲

品名	シリーズ	調整可能範囲
スライド幕板 (低)	CLS、TAR、SKR シリーズ	420 ~ 500mm
	LER、SER、SERE、 ASR シリーズ	350 ~ 500mm
スライド幕板 (高)	CLS、TAR、SKR、LER、 SER、SERE、ASR シリーズ	500 ~ 700mm

○対応機種については各商品ガイドをご覧ください。

●使用例



芯ずれ補正ダクト

ダクト施工時の芯ずれを解消できる 既存の排気口をそのまま活用

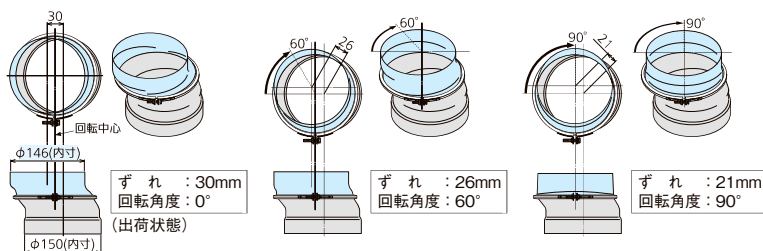
既存の排気口の中心から30mmまでの芯ずれを補正できます。ダクトを回転させるだけで簡単に調整が可能です。

φ150mm
シロッコファン用

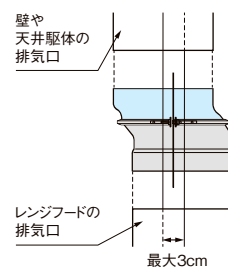
亜鉛メッキ銅板



●調整回転角度(イメージ)とずれ寸法



●使用例



入替・交換用

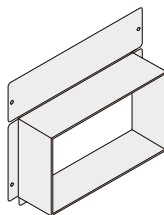
BFRFシリーズ + 角ダクト

BFRFシリーズを角型排気口に接続できる 既存の壁角形排気口をそのまま活用

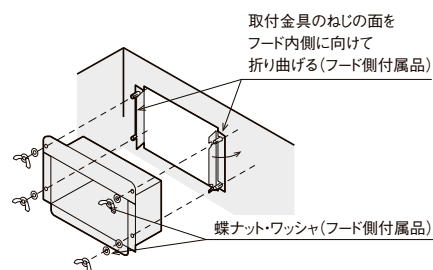
レンジフードBFRFシリーズを設置する際、壁の排気口が角形の場合に対応できます。

角ダクト

W200×D170×H50mm



●使用例



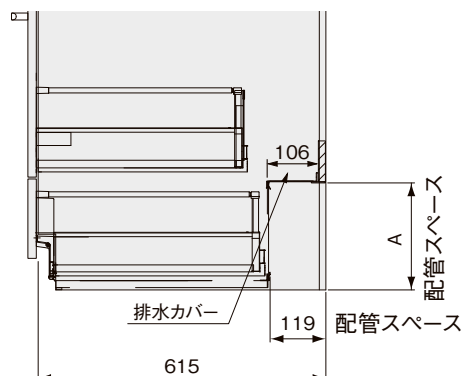
配管スペース

既設の横引き配管を生かしてリフォームできる

既設横引き配管をそのまま活用

集合住宅で一般的な、壁からの横引き配管にも対応するため、背面部に配管スペースを確保したキャビネットです。シンク用とグリル用のほとんどのキャビネットに配管スペース付キャビネットをご用意しています。

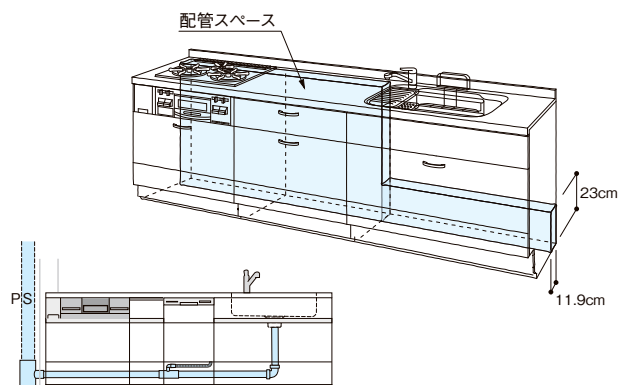
●配管スペース寸法例



キッチン高さ	配管スペース高さ A		
	リシェ尔	ノクト	シエラ
800	180	180	180
850	230	230 (300)	230 (300)
900	280	280 (300)	280 (300)

○()内寸法は、シンク用キャビネット(配管スペース30cm)の場合です。

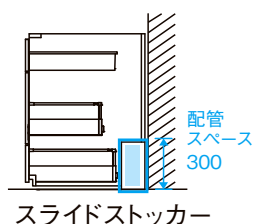
●配管スペースイメージ図



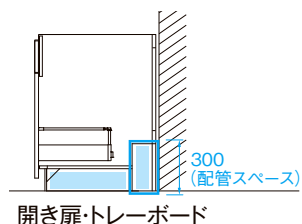
- 図は奥行65cmの場合です。
- ロングスライドタイプのキャビネットは配管スペースが取れないためご注意ください。
- PSとは給水管・排水管などの生活排水に関わるパイプ設備が通るスペースの略称です。

シンク用キャビネット(配管スペース30cm)

調理台用キャビネット スライドストッカー用 2段引出し・下段配管スペース

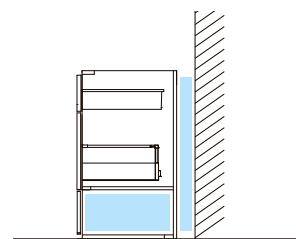
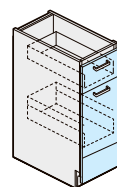


スライドストッカー



開き扉・トレーボード

横引き配管時の対応範囲が広い、配管スペース30cmのシンク用キャビネットです。



コンロ側の排水接続が奥側の配管スペースに収まらない場合にお使いいただける、下段が配管スペースになった調理台用キャビネットです。

- ノクトとシエラでのみ選択できます。
- 奥行65cmのワークトップ高さ90cm用と85cm用のみとなります。
- スライドストッカー、トレーボード、開き扉タイプがあります。
トレーボードタイプはシエラのみとなります。
- キャビネットの間口のラインアップは、タイプにより異なります。
- フィラーなし仕様です。
- ハンドシャワータイプの水栓は設置不可です。

- シエラでのみ選択できます。
- 奥行65cmの間口30cmのみとなります。
- フィラーあり仕様です。

排水口接続位置

排水管・本管から離れた位置にシンクをレイアウトできる

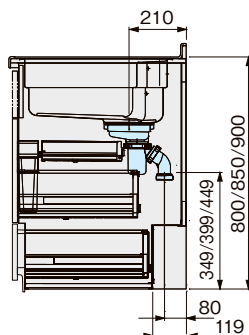
既設排水管・本管をそのまま活用

リシェル ノクト シエラ
○シエラはスキットシンク/ラウンド68シンクのみになります。

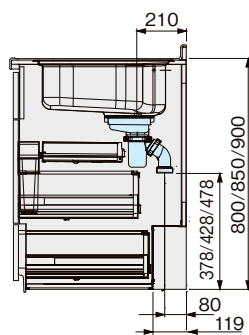
フロアラインからトラップ下端までを従来より高い位置にしたシンク排水部品です。1/50の排水勾配で横引きできる距離が長くなるため、リフォーム時のレイアウト変更の自由度が高まります。

●寸法図参考

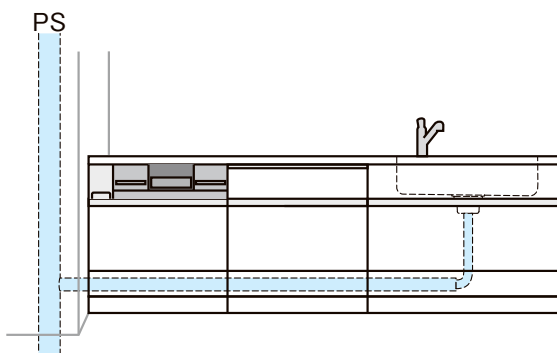
Wサポートシンク



スキットシンク



●ステンレス排水口接続位置イメージ図



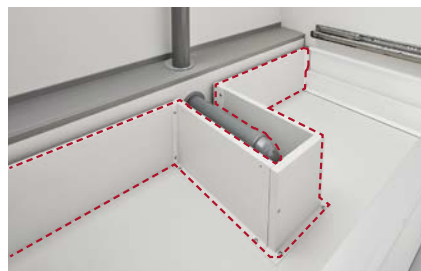
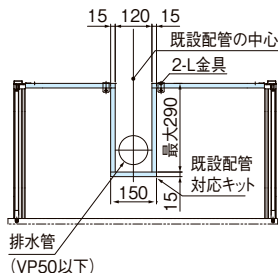
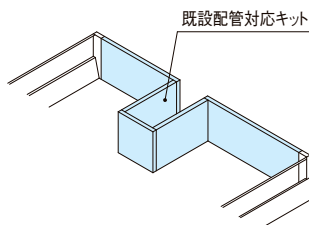
既設配管対応キット

既設排水管を生かしたまま、引出し収納にできる

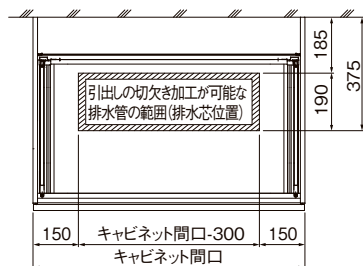
既設排水管に合わせて切り欠き

リシェル ノクト シエラ
在庫対応品 在庫対応品

シンク下の排水管を避けてスライドストッカーなどを設置する場合の引出し切り欠き対応部材と排水配管部材をセットにしたキットです。



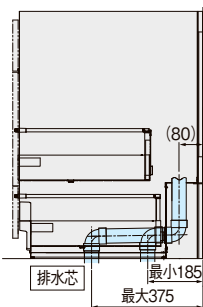
●平面図



●排水管が斜線の範囲に立ち上がっている場合。

●側面図

<スライドストッカータイプ>



○引出しの背板・底板の切欠き加工を行い「既設配管対応キット」を使用して加工を行ってください。

○市販のエルボなどを使用し、左図のように配管処理を行ってください。排水管は引出しと干渉しないようにしてください。

○既設配管対応キットはシンク下の下段スライドストッカータイプのソフトモーションレール（底板メラミン貼り）のみ対応。ローラーレールの引出しは対応できません。（開き扉、トレーボードタイプは既設配管対応キットは不要）

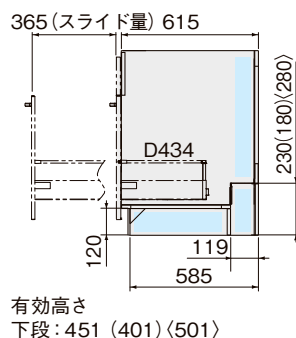
○配管径はVU50、VP50の場合。

トレーボード

既設配管はそのまま、引出しタイプのキッチンが設置できる ← キャビネット背面と下部に配管

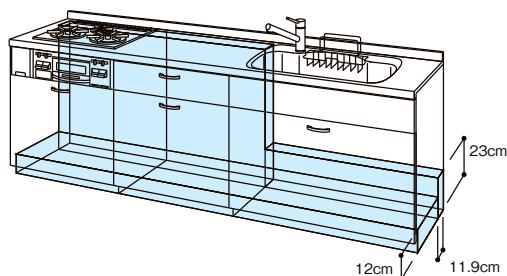
キャビネット背面と下部が配管スペースとして使えるので、大規模な工事なしで引出し収納にリフォームできます。

●寸法図



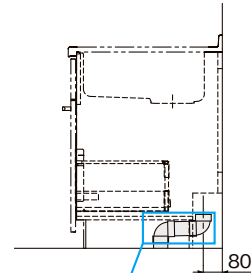
- () 内寸法は、キッチン高さ80cmの場合。
〈 〉 内寸法は、キッチン高さ90cmの場合。

●トレーボード設置時の配管スペース イメージ図



! キャビネットの加工が必要な場合があります。加工の際は、適切な補強を行ってください。

! 既存排水口からの立ち上げ位置の調整は、キャビネット設置工事前に行ってください。



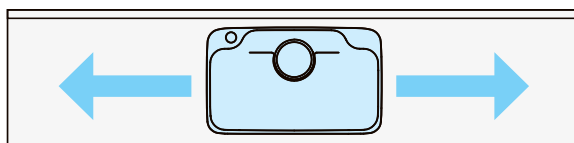
事前工事の必要範囲
(配管部材は管工事手配)

シンク位置移動

給排水管に合わせて、シンク位置が移動できる ← 移動可能範囲内でシンクを移動

ワークトップ上のシンク位置は、以下の加工条件の下で移動が可能です。既設給排水管などの位置に合わせて加工することで、効率的なリフォームを実現します。

間口方向に1mm単位で移動可能です。



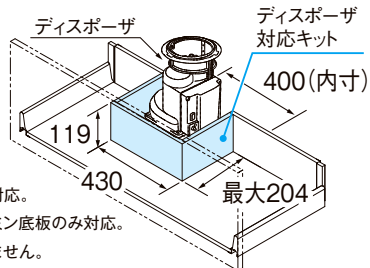
- ワークトップ端部からシンク端部まではI型/L型壁付の場合50mm以上、ペニンシュラ/アイランドの場合74mm (リシェルグループ2.3、ノクト、シエラのグループ1.2)、70mm (ノクトリテックストップ、シエラグループ3)、64mm (リシェルグループ4) 以上、L型入隅部までは150mm以上、加熱機器開口部までは150mm以上のスペース確保が必要です。
○設置するキャビネットなどにより移動できない場合がございます。

ディスポーザ対応キット

ディスポーザが設置できる ディスポーザを現場加工で簡単設置

ディスポーザ(生ゴミ破砕機)が設置できるように、スライドストッカーの切り欠きに必要な部材をセットにしたキットです。

●切欠き寸法の条件



ポケットの無いキャビネットのみ対応。
ソフトモーションレールかつメラミン底板のみ対応。
ラウンド68シンクには搭載できません。



●設定条件

ケース1	ディスポーザで粉砕した生ごみを直接下水道へ流すことを自治体が認めている地域	▶ LIXILでは単体設置用のディスポーザを扱っていません。推奨品がないかを自治体へお問い合わせください。
ケース2	「LIXILのディスポーザ+排水処理槽」が付いている現場のリフォーム	▶ テラル社製ディスポーザへの入れ替えを推奨。
ケース3	「他社のディスポーザ+排水処理槽」が付いている現場のリフォーム	▶ LIXILからは供給できないので他社品のディスポーザでの供給となるが、切欠きサイズなどは現場ごとに対応。

他社のディスポーザが付いている場合(ケース3)

他社品のディスポーザについては、上記の切欠き寸法(400×204)を基準とし、他社品でのキャビネット切欠きサイズなどは現場別に対応してください。

- 他社品のディスポーザを設置する場合は、各メーカーの仕様や、現場々々により状況が異なる場合がございますので上記切欠きサイズをご確認の上、ディスポーザ設置の可否は必ず現場担当者さまにご確認ください。
- 他社品のディスポーザのご使用に関しては、変更の有無に関係なく、いかなる場合にも当社は一切責任を負いかねます。

！ ディスポーザご使用に際して

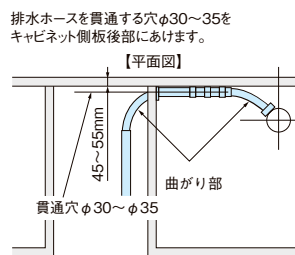
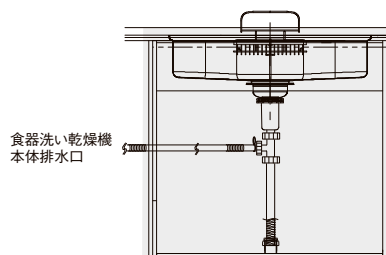
- 集合住宅のディスポーザは、共有部浄化槽とセットで【ディスポーザ排水処理システム】として日本下水道協会認証となっています。したがって浄化槽に適したディスポーザ設置が要件となります。
(「17.3.23現在:ディスポーザ生ごみ処理システム協会方針」)
- ディスポーザ単体設置は、自治体で使用を認めている地域のみ可能です。ディスポーザ機種については推奨品有無を自治体へお問い合わせください。
- ディスポーザの取付設置は設備工事となります。キッチン取付設置では行いません。

食器洗い乾燥機排水分岐管

食器洗い乾燥機が簡単に新設できる 排水管の新たな立ち上げ不要

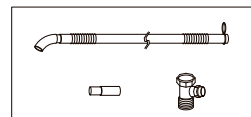
リフォームで食器洗い乾燥機を新たに付ける場合、食器洗い乾燥機の排水を確保する必要があります。排水管を新たに立ち上げるのは工事の手間を考えると困難です。「食器洗い乾燥機排水分岐管」は、シンクの排水管を分岐させ食器洗い乾燥機の排水を行うことで、排水管の新たな立ち上げ工事が不要です。

●概要図



シンクの排水トラップの排水チューブに分岐ユニットを取り付け、排水ホースで食器洗い乾燥機の排水口に接続。既存の排水管への排水を行います。

食器洗い乾燥機排水分岐管(セット内容)



- ！ シンクキャビネットと食器洗い乾燥機用キャビネットに排水分岐管を通す穴加工が必要になります。

- バナソニック製ブルーオープン(深型・浅型)および、アイリスオーヤマ製フロントオープン食器洗い機のための対応です。
- それ以外のブルーオープン/フロントオープン食器洗い乾燥機には使用できません。

リシェル

ノクト

シエラ

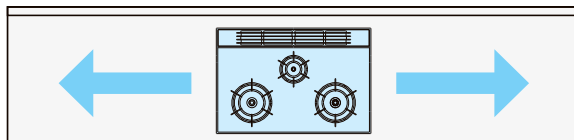
加熱機器位置移動

既設ガス管などの位置に合わせ間口方向に移動ができる

移動可能範囲内で加熱機器を移動

加熱機器は、既設ガス管やレンジフードの位置に合わせて移動することができます。

フィラーを使用することで間口方向に5mm単位で移動可能です。



- ワークトップ端部から加熱機器開口部端部までは50mm以上、壁付L型入隅部までは100mm以上、ペニンシュラL型入隅部までは50mm以上、シンク端部までは150mm以上のスペース確保が必要です。ペニンシュラI型/アイランドの加熱機器位置移動はできません。
- 設置するキャビネットなどにより移動できない場合がございます。

リシェル

ノクト

シエラ

低電気容量対応 IHヒーター

契約アンペアを変更せずに導入できる

引き込み線工事が不要

一般的な契約アンペアである30A以下、15Aで利用できる低電気容量のIHクッキングヒーターです。ガスコンロからIHクッキングヒーターにリフォームする場合も、契約アンペアをアップする必要がありません。

また、マンションリフォームなど集合住宅では、契約アンペアの変更には管理会社（組合）への申し入れや、マンションへの引き込み線の変更といった大掛かりな工事が必要な場合がございます。「低電気容量対応IHクッキングヒーター」なら契約アンペアの変更が不要で簡単に導入できます。

○ご使用されている他の電化製品の種類や量により異なります。

○200Vの電気工事は必要です。

2口IH・スタンダードタイプ
CH-CL6F



トップ間口 60cm

レンジフード連動付

○オープン接続不可

パナソニック製

トップ：ブラック

フェイス：グレー

キッチンパネル

上から貼るだけでキッチンの雰囲気を一新

簡単に美しくキッチンリフォーム

リシェル

ノクト

シエラ

在庫対応品

在庫対応品

○シエラはMEシリーズになります。

キッチンパネル サンウォーレは、既設壁の上から直貼施工が可能です。
タイル貼の既設壁などをはがすことなく、簡単に美しくキッチンをリフォームできます。
タイルに貼る場合、不陸が10mm以上ある場合は10mm以下になるように不陸調整を行ってください。
また、タイルに浮きや剥れがあった場合は、補修あるいは下地処理のやり直しをしてください。



キッチンパネルの最大間口(240cm)で貼り切れない場合は、継ぎ目ができます。



タイルに直貼施工を行う場合は、タイル専用の接着剤をご使用ください。

マグネット対応キッチンパネル

壁面に磁力で取り付けるタイプのハンガー類が設置可能

マグネットで使い勝手アップ

多彩なインテリアやキッチンにマッチするカラーを取り揃えました。
キズ軽減コートというキズつきを軽減するための表面コーティングが施されています。
○マグネット雑貨の使用などにより、パネル面にキズがつく恐れがありますので、ご注意ください。
○マグネット雑貨は加熱機器からの離隔距離を守ってお使いください。



サンウォーレと並べて貼ることはできません。

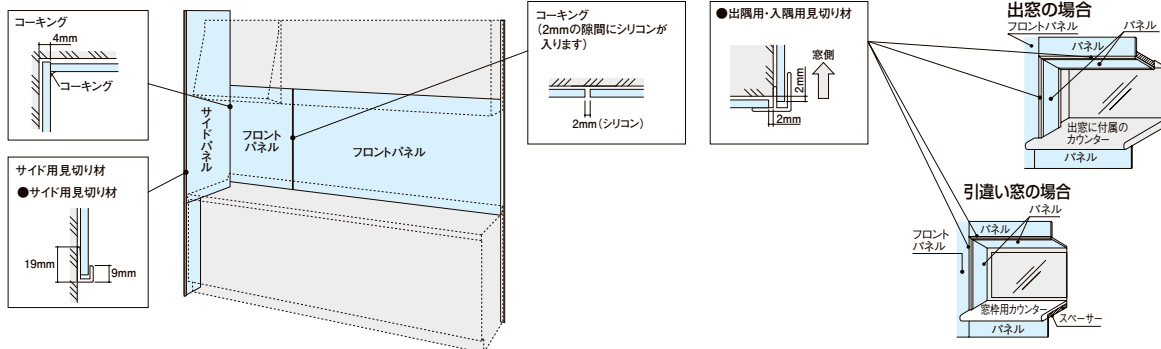


見切り材はサンウォーレと共通です。
MEシリーズとは異なります。

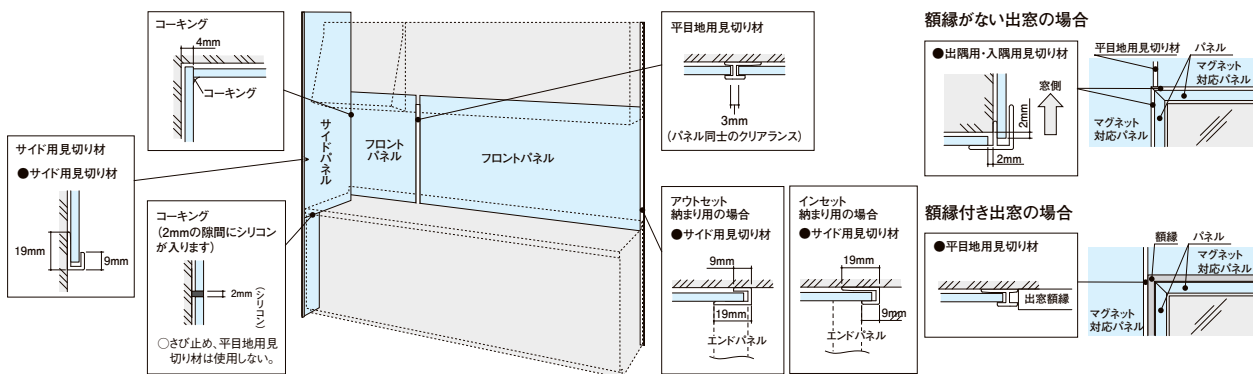


参考

サンウォーレの納まり (MEシリーズは異なります。)



マグネット対応パネルの収まり





リシェル

ノクト

シエラ

キッチン 奥行60cm

狭い空間でもゆとりのキッチンにリフォームできる

限られた空間をゆったりリフォーム

壁付I型と、壁付L型には、奥行60cmのスリムなキッチンをご用意しています。狭いキッチンでも、作業スペースを確保できます。



奥行60cm対応ワークトップ

●壁付I型

ワークトップ材質:ステンレス、人造大理石
リシェル 間口:300~75cm ノクト/シエラ 間口:270~165cm

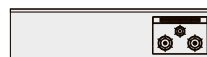
シンク・コンロタイプ



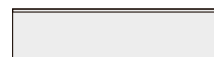
シンクタイプ



コンロタイプ



調理台タイプ



●壁付L型(リシェルのみ)

ワークトップ材質:ステンレス、人造大理石
間口:240~15cm(内寸)

シンク・コンロタイプ



シンクタイプ



コンロタイプ

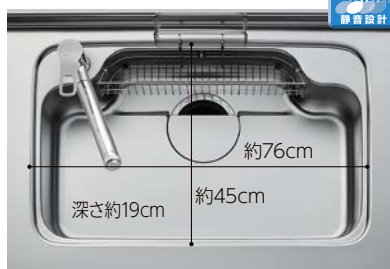


調理台タイプ

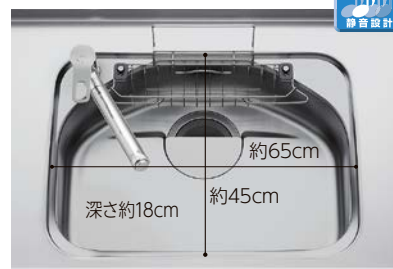


キッチン 奥行60cm 対応シンク

スキットシンク



ラウンド68シンク



システム収納 奥行32cm系

システム収納もスリムに 限られた空間をゆったりリフォーム

奥行32cm系のシステム収納です。狭い空間でも、対面キッチンのレイアウトが可能になります。

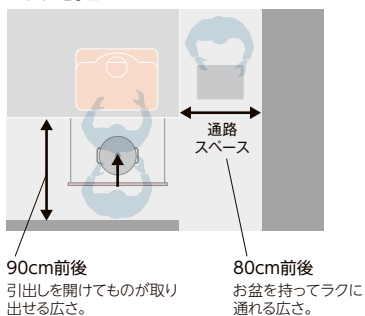
システム収納 奥行32cm系

上置	ウォールキャビネット	フロアキャビネット
 開き扉 (プッシュオープンタイプ) 対応間口：90/75/60/45cm 高さ：70/50cm ○高さ50cmは棚板1枚になります。 ○間口45cm以下は片開きになります。	 シースルー開き扉 対応間口：90/75/60/45cm 高さ：90/70cm ○扉面材のシースルー部分は樹脂製です。 ○高さ70cmは棚板2枚になります。 ○間口45cm以下は片開きになります。	 1段引出し付 開き扉 対応間口：90/75/60/45cm 高さ：85cm
中台		
 中台 シースルー開き扉 対応間口：90/75/60/45cm 総高さ：235/215/199/185cm ○奥行32cm系は二方框シースルー扉と扉面材のみになります。 ○間口45cm以下は片開きになります。	 開き扉 (取手付) 対応間口：90/75/60/45cm 高さ：90/70/50cm ○高さ90cmは棚板3枚、高さ50cmは棚板1枚になります。 ○間口45cm以下は片開きになります。	 マルチスペース 対応間口：90/75/60/45cm 高さ：85cm

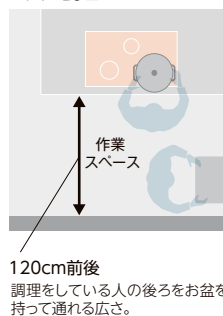
参考

引出しを開けた時のスペースやキッチンに立つ人の人数も考えて、動きやすい広さを確保しましょう。
スペースが取れないときはキッチンの奥行きや間口でも調整できます。

1人で調理



2人で調理





地球環境のためにLIXILは
業界トップランナーとして
先進的な取組をしています。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

商品についての技術的なお問い合わせは、お客さま相談センターまで

受付時間/平日 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00 (ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL.0570-090-521 FAX.0570-020-828

※プラン・お見積り・サンプルのご用命は、支社・支店にご相談ください。

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで ※ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等は緊急時のみの修理対応となります。

■WEBサイトからの修理依頼はこちら



リクシル修理

■お電話からの修理依頼はこちら

受付時間/9:00～19:00

TEL. ☎ 0120-677-755

FAX.0570-027-027

<https://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧のうえ、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

- 表示価格は2026年4月現在のメーカー希望小売価格です。商品のための価格で、取付費・工事費などは別途となります。
- 商品価格はすべて税別価格です。
- 写真は印刷のため、実際の色と異なる場合がございます。現物またはサンプルなどにてご確認ください。
- 商品仕様・価格等は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
WEBカタログから最新の情報が確認できます。
- 本カタログ掲載内容および写真・図版の無断転載はかたくお断りします。

0104L26

#0402-4